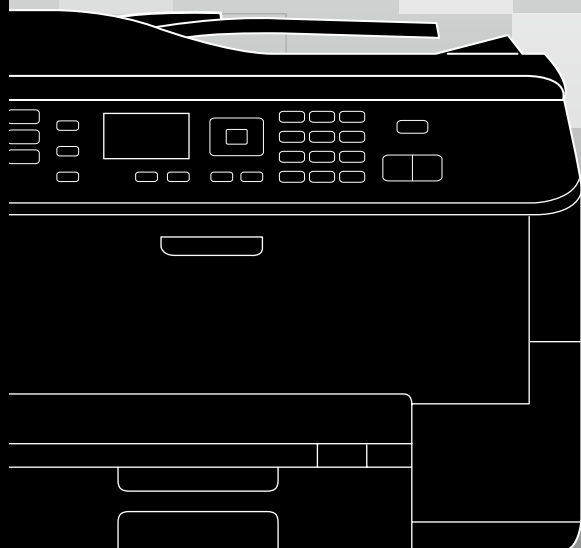
操作ガイド

インクジェットプリンター（複合機）

PX-K751F

本製品の使い方全般を説明しています。

本書は製品の近くに置いてご活用ください。

マニュアルの使い方

シート・冊子（本）のマニュアル

■『準備ガイド』

本製品を使える状態にするまでの手順と、本製品をパソコンに USB・有線 LAN 接続する手順、本製品を電話回線に接続する手順を説明しています。

■『操作ガイド』（本書）

本製品のみで使用するときの使い方を説明しています。

パソコンの画面で見るマニュアル

■『ユーザーズガイド』

パソコンに接続したときの使い方を説明しています。

- 印刷・スキャン・ファクス方法
- 付属のソフトウェアの使い方
- パソコン接続時のトラブル対処方法

■『ネットワークガイド』

以下の内容を説明しています。

- ネットワーク設定方法
- ネットワーク接続時のトラブル対処方法

パソコンにインストールされた電子マニュアル（ユーザーズガイド、ネットワークガイド）は、デスクトップ上のアイコンをダブルクリックして表示させます。

＜ Windows ＞
[スタート] – [すべてのプログラム] – [Epson Software] – [Epson Manual] – [EPSON PX-K751F ユーザーズガイド（またはネットワークガイド）]

＜ Mac OS X ＞
[起動ディスク] – [アプリケーション] – [Epson Software] – [Epson Manual] – [EPSON PX-K751F ユーザーズガイド（またはネットワークガイド）]

こんなトラブルが発生したら？

印刷できない・印字がおかしい・用紙が詰まった・スキャンできない・ファクスできない・
ネットワークの設定ができない　‥など

以下のマニュアルをご覧ください。

■本製品のみで使用しているときのトラブル	**☞『操作ガイド』52 ページ「トラブル対処」**
■パソコンに接続して使用しているときのトラブル	**☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「トラブル解決」** ※「印刷のトラブル」・「スキャンのトラブル」・「ファクスのトラブル」から、目的の内容をご確認ください。
■ネットワーク接続に関するトラブル	**☞『ネットワークガイド』（電子マニュアル）－「トラブル解決」**
■付属のソフトウェアに関するトラブル	**☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「ドライバー / ソフトウェア」**

マークの意味

必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

補足情報や参考情報を記載しています。

☞ 関連した内容の参照ページを示しています。

もくじ

はじめにお読みください

印刷用紙・原稿のセット

コピーモード

ファクスモード

その他のモード

お手入れ

困ったときは

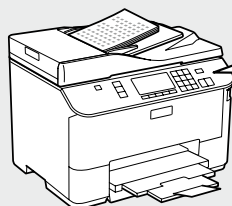
付録

本製品の主な機能

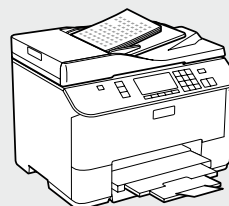
コピーする ☞22 ページ

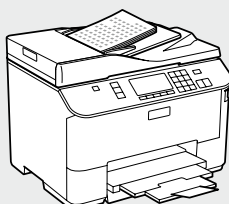
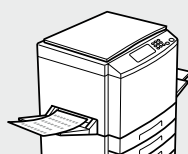
ファクスを使う ☞25 ページ

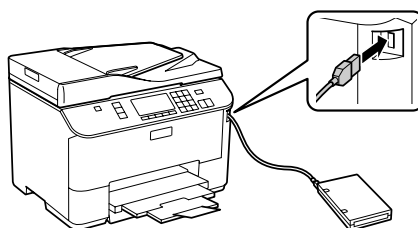
便利なファクス送信機能

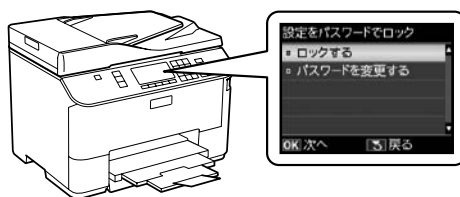
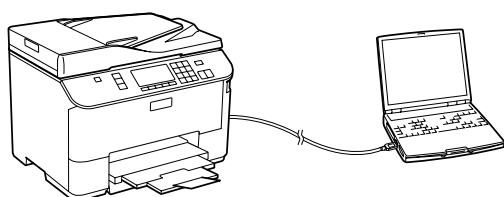
■ 短縮ダイヤル・グループダイヤル送信
☞31 ページ

01：XXX-XXXX-XXXX
02：XXX-XXXX-XXXX
⋮

登録した宛先に送信

■ 時刻指定送信
☞32 ページ

時間を指定して送信

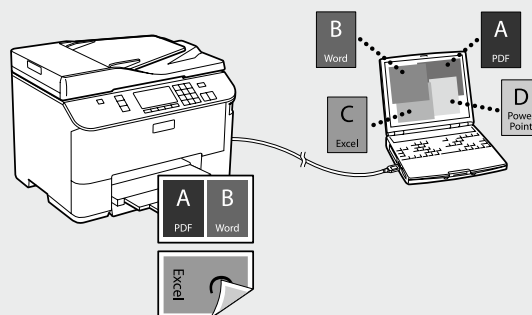
■ 順次同報送信
☞32 ページ

複数の宛先に同じ原稿を送信

スキャンして外部機器に保存する ☞39 ページ

スキャンして外部機器に保存

設定をパスワードでロックする ☞43 ページ

パソコンと接続して使う ☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）

パソコンから印刷・ファクス送信・スキャン

便利な機能

■ まとめてプリント Lite（Windows のみ）

異なるアプリケーションで作成した複数のドキュメントを 1 つにまとめて印刷します。さらに、印刷順序や割り付けなどのレイアウトをページ単位で調整できます。
イメージを確認しながら調整できるので、思い通りのレイアウトで印刷できます。

製品使用上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品のマニュアルをお読みください。本製品のマニュアルの内容に反した取り扱いは故障や事故の原因になります。本製品のマニュアルは、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

記号の意味

本製品のマニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作やお取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

記号	意味	記号	意味
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

記号	意味	記号	意味
	この記号は、必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。		この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。		この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。		この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
	この記号は、特定の場所に触れることの禁止を示しています。		この記号は、アース接続して使用することを示しています。

設置上のご注意

⚠警告

本製品を布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。
内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。

⚠注意

本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。

本製品を移動する際は、水平な状態で移動してください。
傾けたり立てたりすると、スキャナーユニットが開いて、けがをするおそれがあります。

不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。
落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。
感電・火災のおそれがあります。

静電気

静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

電源に関するご注意

⚠警告

電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。
コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。
電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。

電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。
感電・火災のおそれがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電のおそれがあります。

雷が鳴り出したら、電源コンセントや電話回線に接続されている機器（製品本体、電源コード、電話線）に触れないでください。
感電のおそれがあります。

漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。
アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 65cm 以上地中に埋めた物
- 接地工事（D 種）を行っている接地端子

アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店にご相談ください。

AC100V 以外の電源は使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電源コードのたこ足配線はしないでください。
発熱して火災になるおそれがあります。
家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。

破損した電源コードを使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。
また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。
- 電源コードを加工しない
- 電源コードに重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

次のような場所にアース線を接続しないでください。
- ガス管（引火や爆発の危険があります）
- 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっているとアースの役目を果たしません）

付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

⚠注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用上のご注意

⚠警告

液晶ディスプレイが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。
万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。
- 皮膚に付着したときは、付着物をふき取り、水で流し石けんでよく洗い流してください。
- 目に入ったときは､きれいな水で最低 15 分間洗い流した後､医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだときは、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出した後、医師に相談してください。

異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

マニュアルで指示されている箇所以外の分解は行わないでください。

製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。
感電や火傷のおそれがあります。

煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

アルコール､シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
引火による火災のおそれがあります。

お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

各種ケーブルは、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。
発火による火災のおそれがあります｡また､接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。

開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災のおそれがあります。

⚠注意

本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。
コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。

各種ケーブルを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。
火災やけがのおそれがあります。
マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてください。

印刷用紙の端を手でこすらないでください。
用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

詰まった用紙を取り除く際は、用紙や用紙カセットを無理に引き抜かないでください。また、不安定な姿勢で作業しないでください。
急に用紙や用紙カセットが引き抜けると、勢いでけがをするおそれがあります。

本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
特に、子どものいる家庭ではご注意ください。
倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。また、ガラス部分が割れてけがをするおそれがあります。

電源投入時および印刷中は、排紙ローラー部に指を近付けないでください。
指が排紙ローラーに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。

本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。
インクが漏れるおそれがあります。

インクカートリッジに関するご注意

⚠注意			
	インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。 • 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。 • 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師にご相談ください。 • 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。		**インクカートリッジを分解しないでください。** 分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。
			インクカートリッジは強く振らないでください。 強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れるおそれがあります。
			インクカートリッジは、子どもの手の届かない場所に保管してください。

取り扱い上のご注意

- カートリッジは常温で保管し、個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。
- 良好な印刷品質を得るために、装着後は 6 ヵ月以内に使い切ることをお勧めします。
- カートリッジを寒い所から暖かい所に移したときは、4 時間以上室温で放置してからお使いください。
- カートリッジの基板（IC チップ）などには触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。
- カートリッジを取り外した状態で本製品を放置しないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- カートリッジは IC チップでインク残量などカートリッジ固有の情報を管理しているため、本機から取り外しても再装着して使用できます。
- 使用途中で取り外したカートリッジは、インク供給孔部にホコリが付かないように保管してください。インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありません。
- 取り外したカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内に多少のインクが残ります。
- カートリッジに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- カートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- カートリッジを落とすなど、強い衝撃を与えないでください。カートリッジからインクが漏れることがあります。

使用済みインクカートリッジの処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

- 回収
  使用済みのインクカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。
  ☞ 裏表紙「インクカートリッジの回収」
- 廃棄
  一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

インク消費

- プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもヘッドクリーニングなどのメンテナンス動作でインクが消費されます。
- 購入直後のインク初期充てんでは、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は 2 回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。

各部の名称と働き

1 **用紙サポート**

セットした用紙を支えます。

2 **背面 MP トレイ**

対応しているすべての用紙をセットできます。
☞16 ページ「印刷用紙のセット」

3 **給紙口カバー**

異物が内部に入り込まないようにします。

4 **オートドキュメントフィーダー（ADF）**

原稿を自動で送ります。
☞ 21 ページ「オートドキュメントフィーダーへのセット」
このマニュアルでは、オートドキュメントフィーダーを以降「ADF」と記載します。

5 **オートドキュメントフィーダーカバー(ADF カバー)**

詰まった原稿を取り除くときに開けます。
☞50 ページ「詰まった用紙の取り除き」
このマニュアルでは、オートドキュメントフィーダーカバーを以降「ADF カバー」と記載します。

6 **前面カバー**

詰まった原稿を取り除くときに開けます。
☞50 ページ「詰まった用紙の取り除き」

7 **用紙カセット 1**

A5 サイズ以上の用紙がセットできます。
☞16 ページ「印刷用紙のセット」

8 **用紙カセット 2(増設カセットユニット(オプション))**

B5 サイズ以上の用紙がセットできます。
☞16 ページ「印刷用紙のセット」

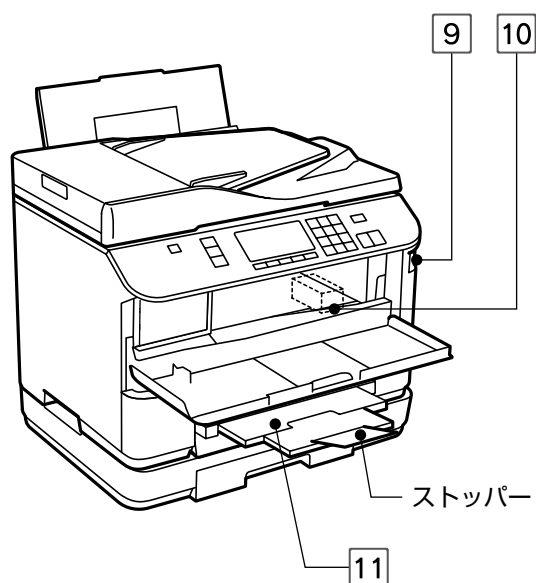
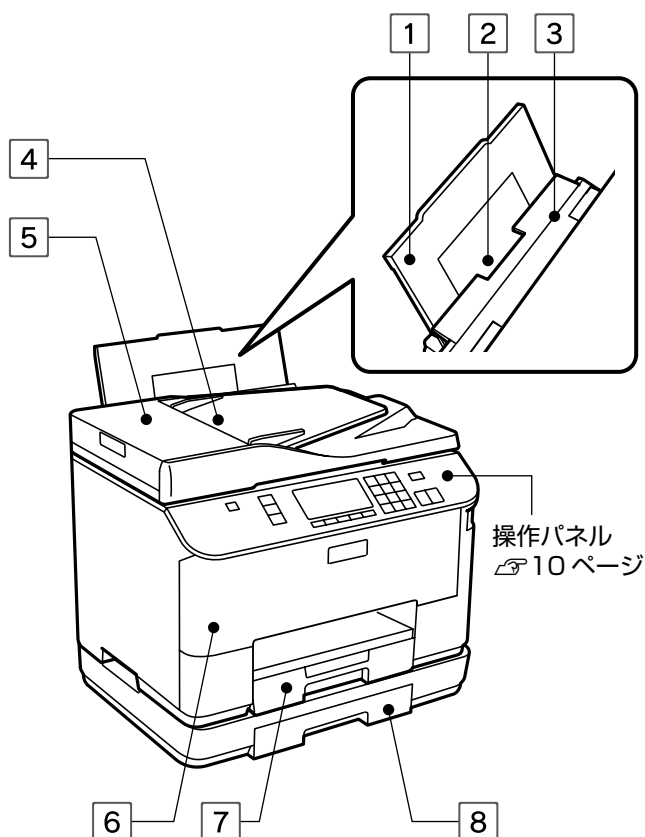
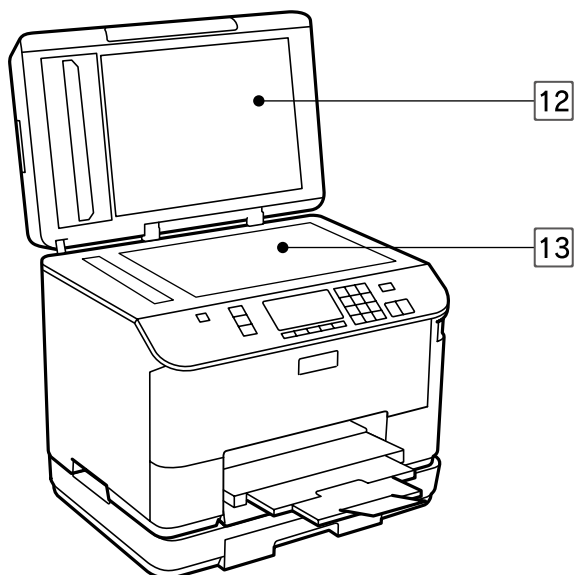
9 **外部機器接続コネクター**

外部記憶装置を接続する USB コネクターです。

10 **プリントヘッド（ノズル）**

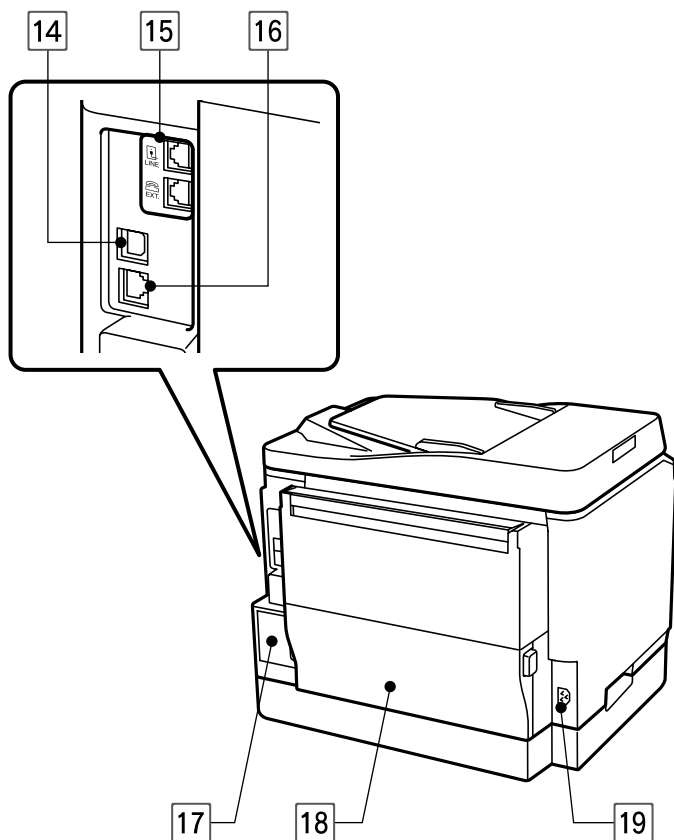
インクを吐出します。

11 **排紙トレイ**

印刷された用紙を保持します。3 段すべて引き出してお使いください。
トレイ先端のストッパーで用紙の飛び出しを防ぎます。

12 原稿カバー

スキャン時に外部の光をさえぎります。

13 原稿台

原稿をセットします。
☞20 ページ「原稿のセット」

14 USB コネクター

USB ケーブルを接続します。

15 モジュラーケーブル接続コネクター

LINE：電話回線を接続します。
EXT.：外付電話機を接続します。

16 LAN ケーブル用コネクター

LAN ケーブルを接続します。

17 メンテナンスボックス

廃インクをためる容器です。

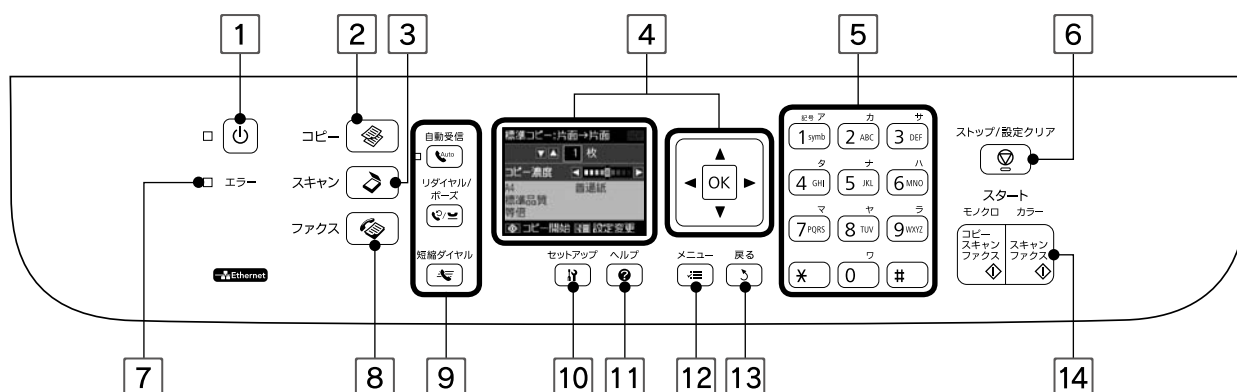
18 背面ユニット

詰まった用紙を取り除くときに取り外します。

19 電源コネクター

電源コードを接続します。

操作パネルの使い方

操作パネルの名称と働き

1 【電源】ボタン

電源のオン / オフをします。

2 【コピー】ボタン

☞22 ページ「コピーモード」

3 【スキャン】ボタン

スキャンモードにします。
☞39 ページ「その他のモード」－「スキャン」

4 液晶ディスプレイ・選択 / 設定ボタン

液晶ディスプレイに表示される案内に従って、ボタンを押してメニューや項目を選択したり、印刷枚数を設定したりします。
☞11 ページ「画面上のガイド」

※13 分以上操作しないとスリープモードになり、ディスプレイの表示が消えます。再表示するにはいずれかのボタンを押してください。

5 テンキー（数字キー）

数字・ファクス番号・文字などの入力や、設定項目・設定値の選択をします。

6 【ストップ / 設定クリア】ボタン

本体が動作中の場合、動作を中止します。また、操作中の設定を購入時の状態に戻します。

7 エラーランプ

エラーが発生すると、点滅します。

8 【ファクス】ボタン

ファクスモードにします。
☞25 ページ「ファクスモード」

9 ファクスモード用のボタン

☞29 ページ「ファクス送信をする」
☞31 ページ「短縮ダイヤル・グループダイヤル送信」
☞31 ページ「リダイヤル送信」
☞34 ページ「自動受信」

10 【セットアップ】ボタン

インク残量表示、印刷品質が悪くなったときのメンテナンス、ネットワーク設定など、各種設定を行います。

11 【ヘルプ】ボタン

お問い合わせの多いトラブルの対処方法を表示します。
- 操作方法がわからない
- 印刷結果がおかしい
- 「スキャンしてパソコンへ」が使えない

12 【メニュー】ボタン

各モードのメニュー画面を表示します。

13 【戻る】ボタン

1 つ前の画面に戻ります。

14 【スタート】ボタン

コピー時はモノクロの【スタート】ボタンを押します。スキャンやファクス送信時はモノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押します。

画面上のガイド

各画面で操作できるボタンを、アイコンを使ったガイドで表示します。
ガイドの意味を覚えておくと、ガイドを見ながら操作を進めることができます。

操作パネルの【▲】か【▼】ボタンで操作することを示しています。

操作できるボタンがアイコン表示されます。
ここではモノクロの【スタート】ボタンでコピーを開始することと、【メニュー】ボタンで設定変更できることを示しています。

画面のメニュー構成は 70 ページ「操作パネルのメニュー一覧」をご覧ください。

印刷用紙の種類と設定

使用できる用紙

よりきれいに印刷するためにエプソン製専用紙のご使用をお勧めします。セット可能枚数を超えてセットしないでください。
以下は 2012 年 7 月現在の情報です。

エプソン製専用紙（純正品）

	用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数[*1]			印刷できる面
			背面 MP トレイ	用紙 カセット 1	用紙 カセット 2	
普通紙	両面上質普通紙＜再生紙＞	A4	50 枚[*2]	200 枚	200 枚	両面

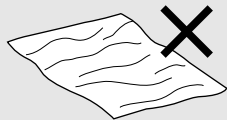
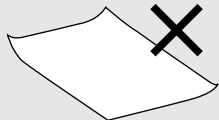
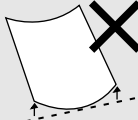
＊ 1： セット枚数を超えてセットしないでください。
＊ 2： 片面に印刷済みの用紙は 20 枚までです。

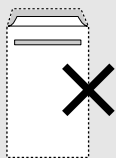
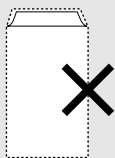
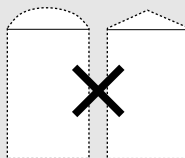
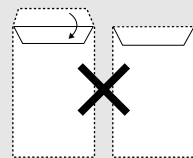
市販の用紙

	用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数*1			印刷できる面
			背面 MP トレイ	用紙カセット 1	用紙カセット 2	
普通紙	コピー用紙・事務用普通紙	A4・B5・Letter *2	エッジガイドの上限まで*3 ▽マーク下の線を超えない	250 枚		より光沢のある面
		A5 *2 *4	80 枚*3	250 枚	–	
		A6 *2 *4	80 枚*3	–	–	
		Legal *2 *4	1 枚	250 枚		
		ユーザー定義サイズ*2	1 枚	–	–	
厚紙	厚紙	A6 *2・B5・A5 *2・A4・Legal *2・Letter *2・ユーザー定義サイズ*2	10 枚*5	–	–	
ハガキ*2 *6 *7	郵便ハガキ	ハガキ	30 枚	–	–	両面*4
	往復ハガキ	往復ハガキ	15 枚	–	–	
封筒	封筒*2	長形 3 号・4 号	10 枚	–	–	両面*4
		洋形 1 号･2 号･3 号･4 号	10 枚	–	–	宛名面のみ
		角形 2 号・20 号	1 枚	–	–	両面*4

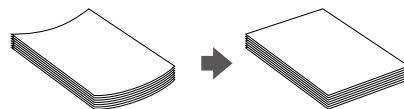
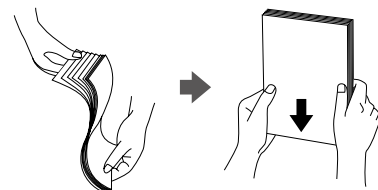
＊ 1： セット枚数を超えてセットしないでください。
＊ 2： パソコンからの印刷時のみ対応です。
＊ 3： 片面に印刷済みの用紙は 30 枚までです。
＊ 4： 手動両面のみ（Mac OS X は非対応）。
＊ 5： 片面に印刷済みの用紙は 5 枚までです。
＊ 6： 郵便事業株式会社製。
＊ 7： 郵便ハガキ<写真用>は対応していません。

使用できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

- 波打っている用紙
- 破れている用紙
- 切れている用紙

- 角が反っている用紙
- 折りがある用紙
- 一度折った往復ハガキ

- 丸まっている用紙
- 反っている用紙

- 写真店などでプリントした写真ハガキや絵ハガキなど、厚いハガキ
- シールなどを貼った用紙
- 対応していない穴あき用紙
- 湿った用紙

- のり付けおよび接着の処理が施された封筒

- 二重封筒
- 窓付きの封筒

- フラップが円弧や三角形状の角形・長形封筒

- フラップを一度折った角形・長形封筒

用紙の取り扱い

- 用紙のパッケージやマニュアルなどに記載されている注意事項をご確認ください。
- 用紙は必要な枚数だけを取り出し、残りは用紙のパッケージに入れて保管してください。本製品にセットしたまま放置すると、反りや品質低下の原因になります。
- 用紙を複数枚セットするときは、よくさばいて紙粉を落とし、側面を整えてください。

- ハガキサイズの用紙に両面印刷するときは、印刷した面が乾くまで放置してください。反りを修正し、平らにしてから反面に印刷してください。ハガキは宛名面から印刷することをお勧めします。

［用紙種類］の設定

最適な印刷結果を得るために、印刷用紙に適した［用紙種類］を設定してください。

	用紙名称	［用紙種類］の設定	
		コピー	パソコンから印刷
普通紙	両面上質普通紙<再生紙> コピー用紙・事務用普通紙	普通紙	普通紙
厚紙	厚紙	×	厚紙
ハガキ＊2	郵便ハガキ＊1	×	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ
	往復ハガキ＊1	×	郵便ハガキ
封筒	封筒	×	封筒＊3

×：非対応です。

＊１：郵便事業株式会社製。

＊２：郵便ハガキ<写真用>には対応していません。

＊３：角形２号・角形 20 号・長形３号・４号封筒は、Windows パソコンからの印刷のみに対応しています（Mac OS X は非対応）。

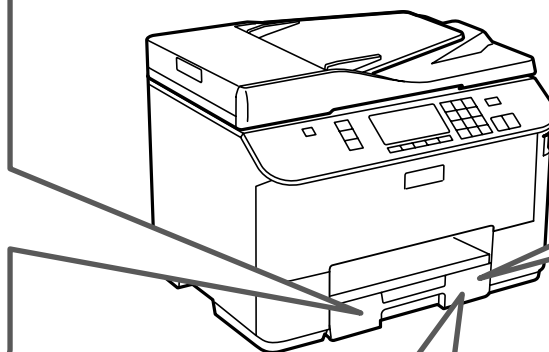
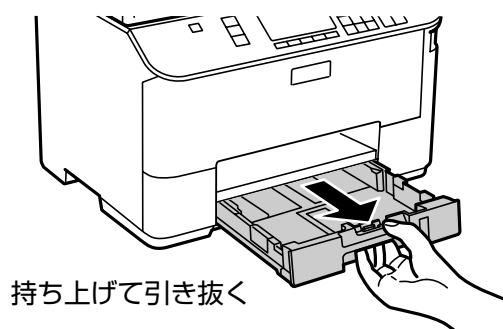
印刷用紙のセット

用紙カセットへのセット

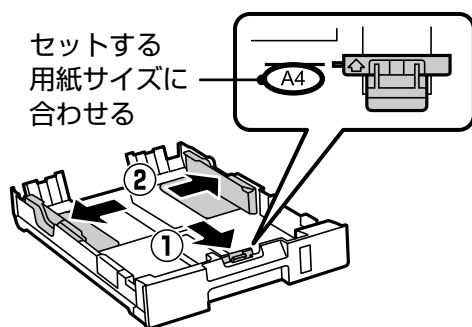
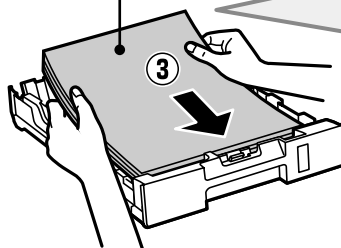
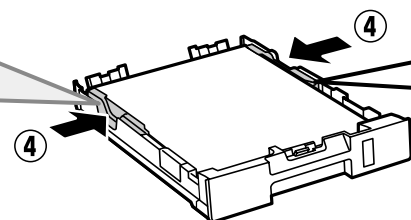
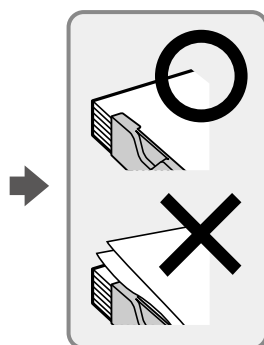
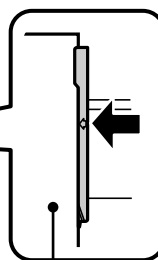
1

用紙カセットを抜く

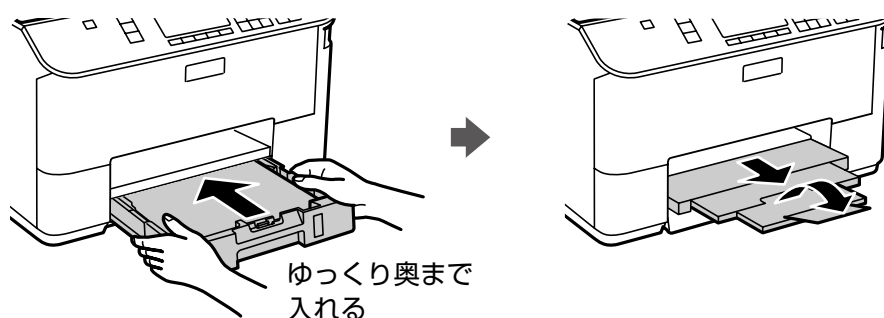
動作中は用紙カセットを抜き差ししないでください。

持ち上げて引き抜く

2

用紙をセットする

ここでは A4 サイズの用紙セットを例に説明しますが、A4 サイズ以外の用紙もセット方法は同様です。

エッジガイドをつまんで広げ、
用紙サイズに合わせる

手前のエッジガイドに
合わせてセット

両端のエッジガイドを用紙に合わせる

3 用紙カセットをセットして、排紙トレイを引き出す

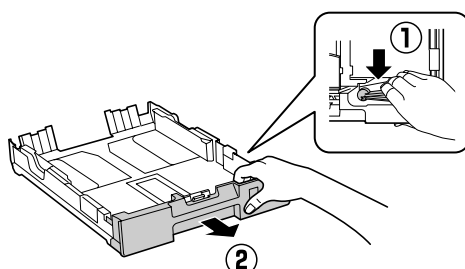
用紙をセットしたら【セットアップ】ボタンを押し、[プリンターの基本設定] − [給紙装置の用紙サイズ設定] でセットした用紙サイズを選択してください。

☞44 ページ「給紙装置の設定」

用紙カセットの使い方

- 用紙カセット 1 には、A4･B5･A5･Letter･Legal サイズの普通紙がセットできます。
- 用紙カセット 2（オプション）には、A4･B5･Letter･Legal サイズの普通紙がセットできます。
- 用紙カセット 1・2（オプション）とも印刷用紙のセット方法は同じです。
- 用紙カセット 1 と 2（オプション）に同じサイズの用紙をセットすると、用紙カセット 1 の用紙がなくなったときに、自動で用紙カセット 2（オプション）から給紙します。
- 用紙カセット 1 と 2（オプション）を入れ替えてセットすることはできません。

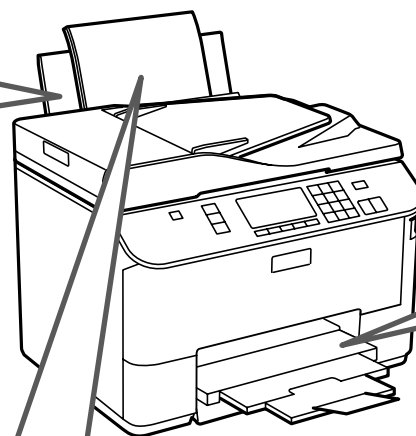
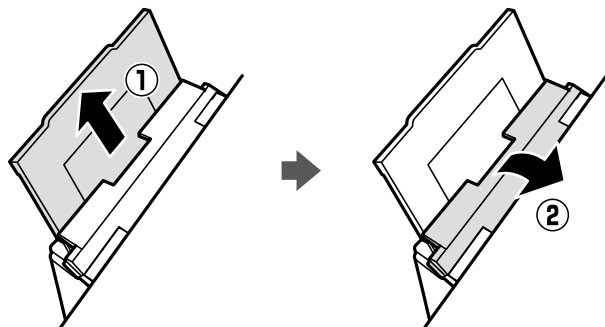
Legal サイズの用紙をセットするときは

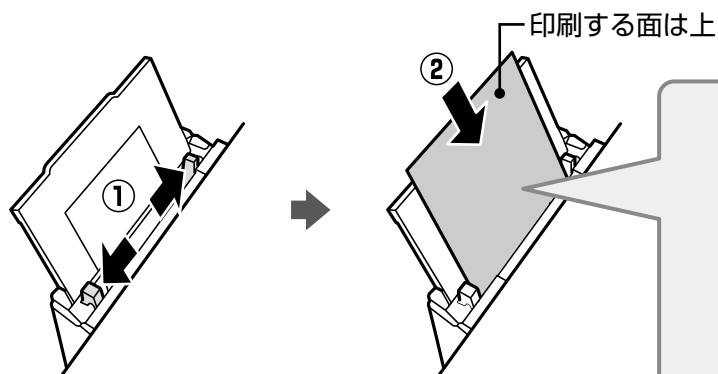
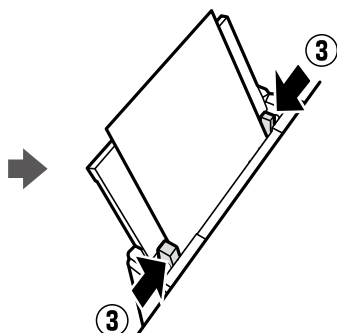
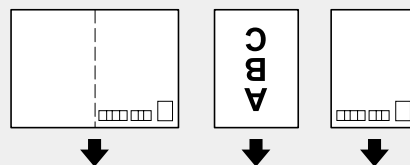
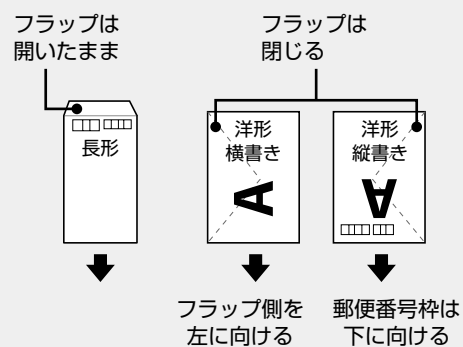
左手で用紙カセットを押さえて、下図のように右手で①の部分をつまみ、用紙カセットを手前に引いてください。

☞ 12 ページ『使用できる用紙』

コピーをするときは 22 ページ「コピーをする」をご覧ください。

背面 MP トレイへのセット

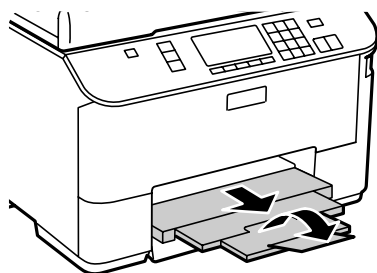
背面 MP トレイには、対応しているすべての用紙がセットできます。

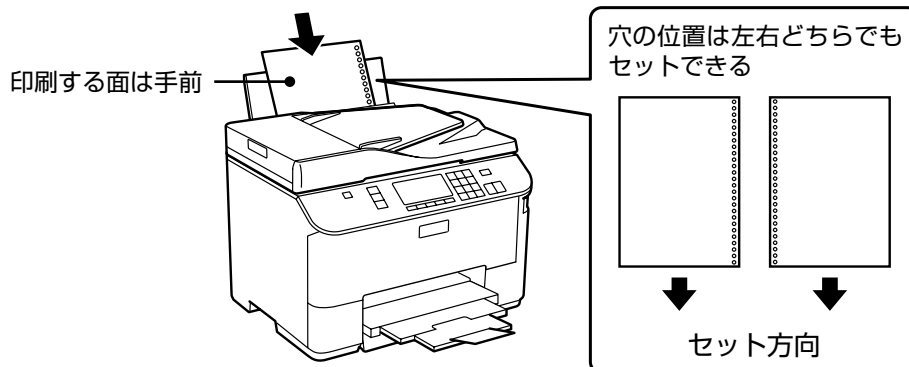
1 用紙サポートを引き出して、給紙口カバーを開ける

2 用紙をセットする

用紙の種類によってセットできる枚数が異なります。セット可能枚数を超えてセットしないでください。
12 ページ「使用できる用紙」

3

排紙トレイを引き出す

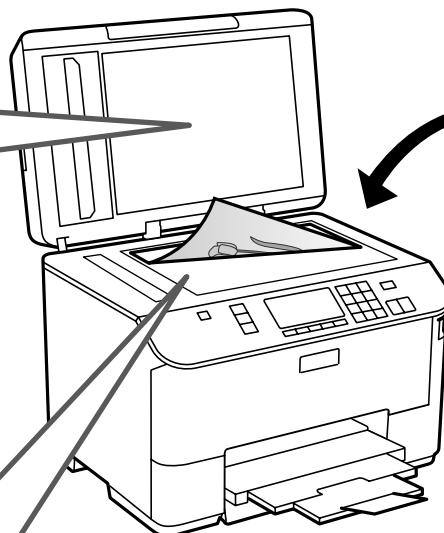
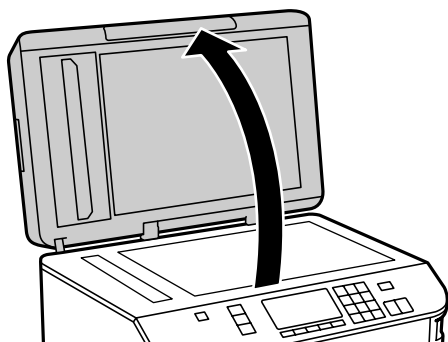
用紙をセットしたら【セットアップ】ボタンを押し、[プリンターの基本設定] − [給紙装置の用紙サイズ設定] でセットした用紙サイズを選択してください。

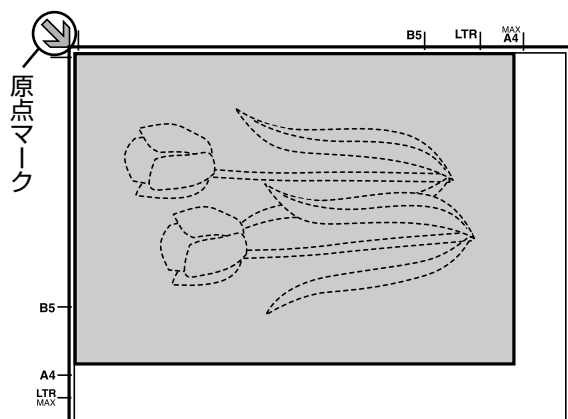
☞44 ページ「給紙装置の設定」

参考

ルーズリーフのような穴あき用紙は下記のサイズに対応しており、背面 MP トレイからのみ給紙できます。
A4・A5・A6・B5・Letter・Legal

コピーをするときは 22 ページ「コピーをする」をご覧ください。

原稿のセット

原稿台へのセット

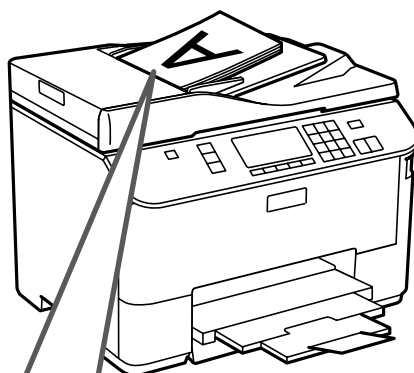
1 原稿カバーを開ける

2 原稿をセットして、カバーを閉じる

スキャンする面を下にして、ガラス面の角（原点マーク側）に合わせる

重要

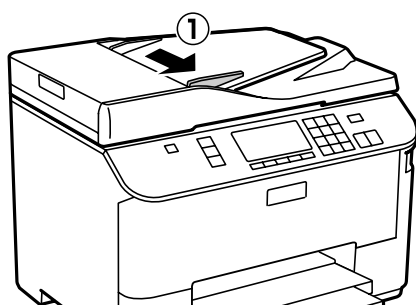
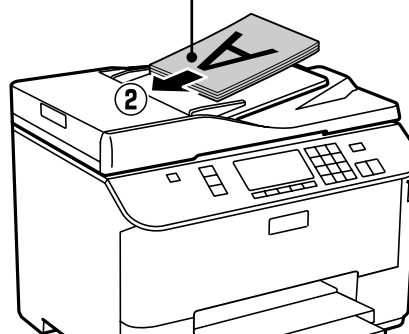
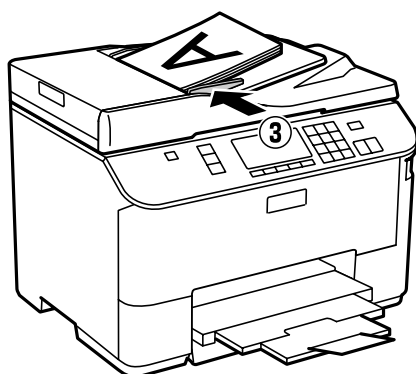
- 原稿をセットする前に、原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。
- コピーが終了したら、原稿を取り出してください。原稿を長時間セットしたままにすると原稿台に貼り付くおそれがあります。
- 原稿台の上端から 1.5mm、左端から 1.5mm の範囲はスキャンできません。

オートドキュメントフィーダーへのセット

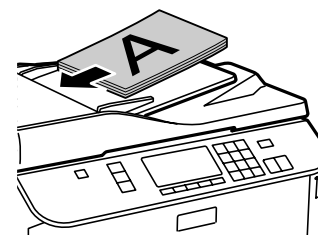
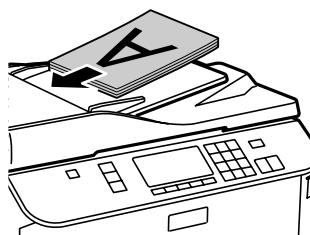
!重要

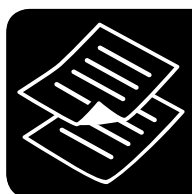
ADF 使用時の注意事項（対応原稿サイズやセットできない原稿など）は、以下のページをご覧ください。
☞62 ページ「オートドキュメントフィーダー使用時のご注意」

原稿をセットする

A4 サイズの普通紙原稿をセットする例で説明します。

セット可能枚数は 30 枚（または総厚 3mm）

エッジガイドを広げる

スキャンする面を上にしてセット

エッジガイドを原稿の側面に合わせる

2 アップ機能を使う場合

2 枚の原稿を 1 枚の用紙にコピー（2 アップ）するときは、原稿の向きを下図のよう（スキャンする面を上）にセットします。

コピー後のイメージは、以下のページをご覧ください。
☞ 23 ページ「用紙とコピーの設定」

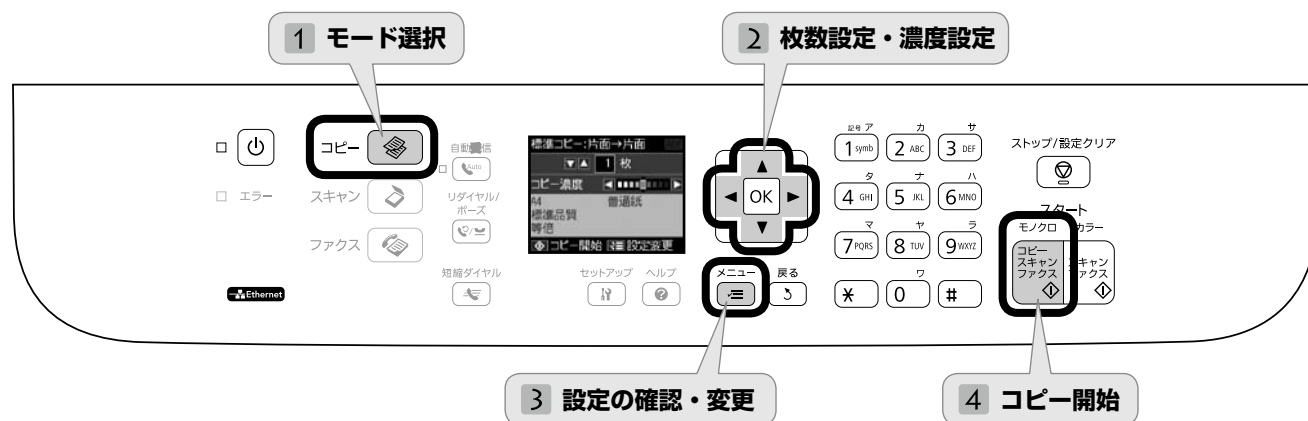
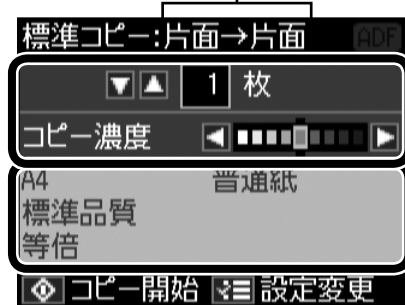
コピーをするときは 22 ページ「コピーをする」をご覧ください。

コピーをする

コピー濃度・用紙サイズ・用紙種類・印刷品質・倍率などを設定してコピーします。
コピーの前に、以下の作業が終了していることを確認してください。

- 印刷用紙のセット ☞16 ページ
- 排紙トレイの引き出し ☞17 ページ
- 給紙装置の用紙サイズ設定 ☞44 ページ
- 原稿のセット ☞20 ページ

参考

- 設定を変更前の状態に戻すときは、【ストップ / 設定クリア】ボタンを押します。
- コピーを中止するときは【ストップ / 設定クリア】ボタンを押します。

1 モード選択
2 枚数設定・濃度設定
3 設定の確認・変更
4 コピー開始

1 コピーモードにします。

2 枚数と濃度を設定します。

両面設定はここで確認します。

標準コピー:片面→片面
1 枚
コピー濃度
A4 普通紙
標準品質
等倍
コピー開始 設定変更

【▲】か【▼】ボタンでコピー枚数を設定します。コピー枚数はテンキー（数字キー）でも設定できます。
【◀】か【▶】ボタンで濃度を設定します。
原稿の画質が薄いときは濃度を上げてください。また、こすれが発生するときは濃度を下げてください。

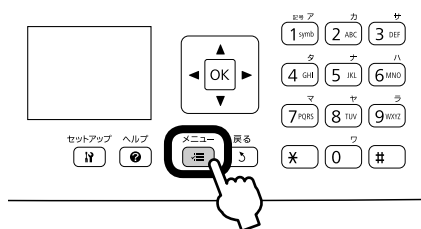
3 設定の確認をします。

用紙サイズ・用紙種類・印刷品質・倍率など、詳細なコピー設定を変更するときは、【メニュー】ボタンを押してください。
☞23 ページ「コピー設定の変更」
セットした原稿に合わせて設定を変更してください。

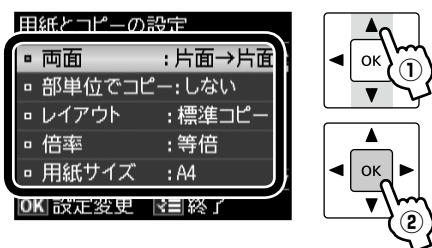
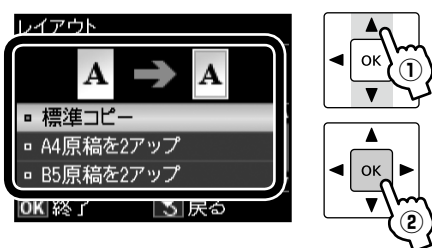
4 コピーを開始します。

モノクロの【スタート】ボタンを押します。

コピー設定の変更

22 ページ「コピーをする」の手順 3「設定の確認・変更」では、右記の設定が変更できます。なお、組み合わせによっては表示されない項目があります。

1 【メニュー】ボタンを押します。

2 【▲】か【▼】ボタンで設定メニュー（右記）を選択して、【OK】ボタンで決定します。

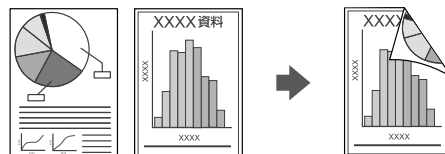
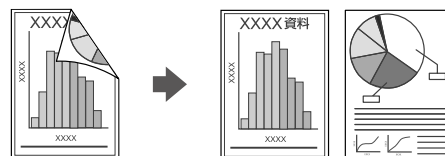
3 【▲】か【▼】ボタンで項目を選択して、【OK】ボタンで設定値を表示させます。

4 【▲】か【▼】ボタンで設定値を選択して、【OK】ボタンで決定します。

5 【メニュー】ボタンを押して、設定メニューを閉じます。

用紙とコピーの設定

両面

両面コピーの設定をします。

［片面→片面］
片面の原稿を片面コピーします。

［片面→両面］
2 枚の片面原稿を両面コピーします。

［両面→片面］
両面の原稿を片面コピーします。

［両面→両面］
両面の原稿を両面コピーします。

部単位でコピー

部数ごと分けてコピーします。

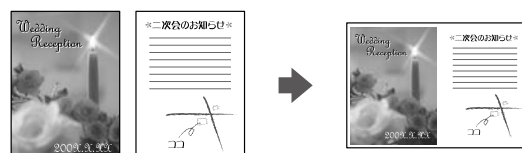
［しない］・［する］

レイアウト

コピーのレイアウトを選択します。

［標準コピー］
周囲に約 3mm の余白あり（フチあり）でコピーします。

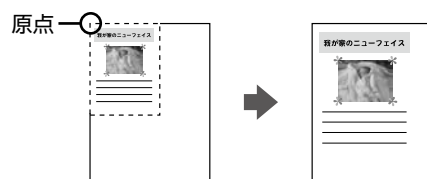
［A4 原稿を 2 アップ］・［B5 原稿を 2 アップ］
2 枚の原稿（A4・B5 サイズ）を 1 枚の用紙にコピーします。原稿サイズによって選択できる用紙サイズが異なります。

つづく

倍率

コピー倍率を選択します。

[任意倍率]
【▲】か【▼】ボタンまたはテンキーで、任意の倍率に変更します。
【▲】か【▼】ボタンを長めに押すと、10%刻みで設定できます。

[等倍]
100%の倍率でコピーします。

[オートフィット]
原点からの余白を含めて原稿の文字や画像のある部分をスキャンし、そのデータを用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小してコピーします。

[A4 → B5]・[B5 → A4]
A 判または B 判に合わせた倍率で拡大 / 縮小してコピーします。

用紙サイズ

使用する印刷用紙のサイズを選択します。

[A4]・[B5]

用紙種類

使用する印刷用紙の種類を選択します。
☞15 ページ「[用紙種類] の設定」

印刷品質

コピーの印刷品質を選択します。

[標準品質]・[きれい]

[きれい] では、品質優先でコピーするため、印刷速度が遅くなります。

原稿の向き

原稿の向きを選択します。

[縦]・[横]

原稿とじ位置

原稿のとじ位置を選択します。

[左]・[上]

印刷とじ位置

印刷結果のとじ位置を選択します。

[左]・[上]

ファクスの流れ

ファクスの準備

本製品をパソコンと接続して使うときは『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「ファクス」をご覧ください。

1 基本設定をする ☞26 ページ「ファクスの準備」

［呼び出し回数］・［回線種別］・［自局設定］を設定します。

2 受信設定をする ☞34 ページ「いろいろなファクス受信機能」

受信方法を設定します。ファクスのご使用が多い方は自動受信をお勧めします。【自動受信】ボタンを押すと自動受信モード（自動受信ランプ点灯）になります。

以上で準備は終了です。

ファクスの接続状態を確認するときは、以下のページをご覧ください。
☞38 ページ「ファクス機能診断」

ファクスを送信する

宛先を入力してファクスを送信する ☞29 ページ「ファクス送信をする」

便利な機能を使う

電話番号を登録する
☞36 ページ「短縮ダイヤル登録」
☞37 ページ「グループダイヤル設定」

短縮ダイヤル・グループダイヤルの一覧を確認する
☞38 ページ「レポート印刷」

短縮ダイヤル・グループダイヤルで送信する
☞31 ページ「短縮ダイヤル・グループダイヤル送信」

最後に送信した宛先にもう一度送信する
☞31 ページ「リダイヤル送信」

時刻を指定して送信する
☞32 ページ「時刻指定送信」

複数の宛先に同時送信する
☞32 ページ「順次同報送信」

情報サービスを使って受信する
☞35 ページ「ポーリング受信」

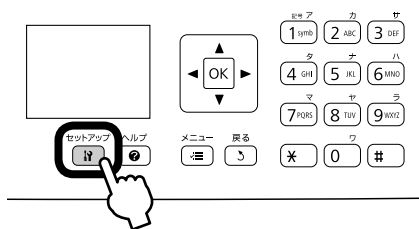
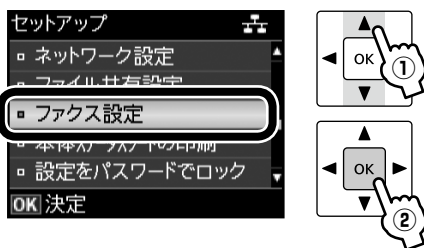
送信結果の一覧表を確認する・受信文書を再印字する
☞38 ページ「レポート印刷」

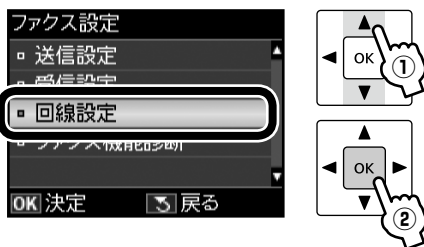
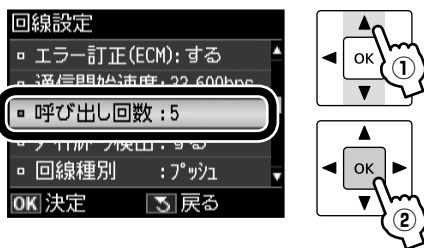
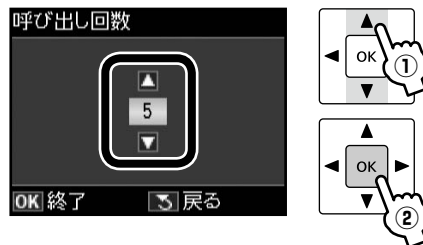
ファクスの準備

初めてファクス設定を行う場合や、各設定を変更する場合は、操作パネルで以下の設定をしてください。

呼び出し回数

ファクス受信するまでの呼び出し回数を設定します。

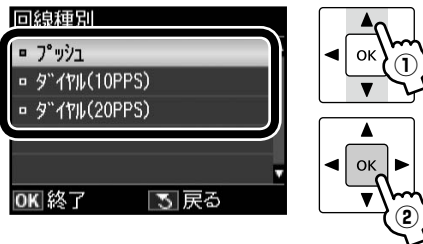
1 【セットアップ】ボタンを押します。

2 ［ファクス設定］を選択します。

3 ［回線設定］を選択します。

4 ［呼び出し回数］を選択します。

5 【▲】か【▼】ボタンで呼び出し回数を設定して、【OK】ボタンで決定します。

テンキー（数字キー）でも入力できます。

回線種別

ファクス通信するための回線を設定します。
回線種別は、初回の送信時のみ自動で設定されます。自動で設定されないときや、電話回線を変更したときに手動で変更してください。

1 前項「呼び出し回数」の手順 4 の画面で、［回線種別］を選択します。

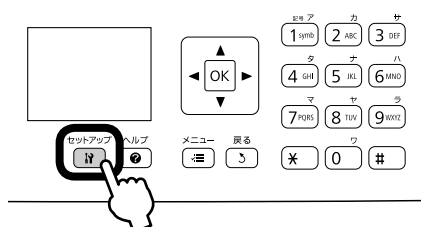
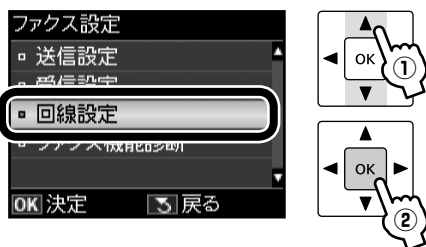
2 回線種別を選択します。

参考

- 各設定の詳細は、以下のページをご覧ください。
☞42 ページ「回線種別」
- 使用している回線種別がわからないときは、［プッシュ］→［ダイヤル（10PPS）］→［ダイヤル（20PPS）］の順に設定を変えてダイヤルできるかどうか試してみてください。

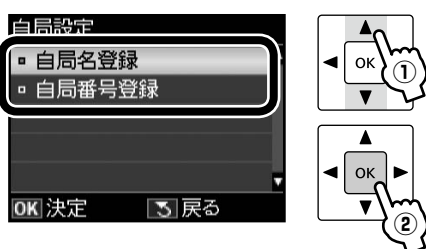
以上で、操作は終了です。

自局設定

自局名と自局番号を設定します。

1 【セットアップ】ボタンを押します。

2 ［ファクス設定］を選択します。

3 ［回線設定］を選択します。

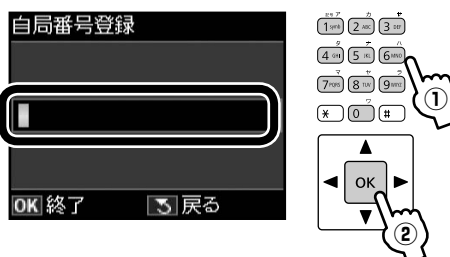
4 ［自局設定］を選択します。

5 ［自局名登録］または［自局番号登録］を選択します。

6 名前または番号を入力します。

＜自局名＞

ソフトキーの使い方は、以下のページをご覧ください。

☞28ページ「ソフトキーの使い方と入力できる文字」

＜自局番号＞

参考

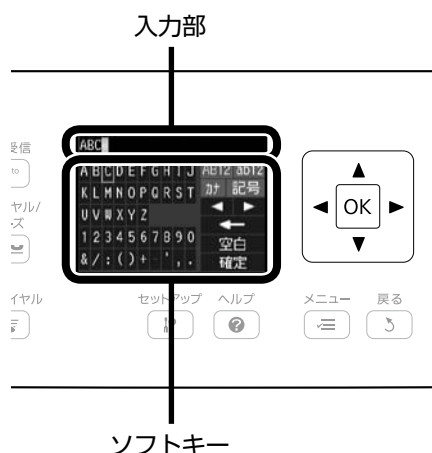
自局名で 40 文字、自局番号で 20 文字まで入力できます。
入力できる文字種は、以下のページをご覧ください。
☞28 ページ「入力できる文字」

以上で、操作は終了です。

ソフトキーの使い方と入力できる文字

短縮ダイヤルやグループダイヤルの登録などで文字や記号を入力するときには、入力のための専用画面（ソフトキーの画面）が表示されます。設定する項目によって表示される画面は異なりますが、ネットワーク設定でも同様の操作で入力できます。

ソフトキーの使い方

ソフトキーの画面は「入力部」と「ソフトキー」に分かれています。
「入力部」のカーソル移動および入力操作は、「ソフトキー」と操作パネルの【OK】ボタンで行います。
「ソフトキー」のカーソル移動および操作は、操作パネルの【▲】【▼】【◀】【▶】【OK】ボタンで行います。

- **ソフトキーのカーソル移動**
  操作パネルの【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで移動します。
- **入力部への文字入力**
  操作パネルの【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで選択して、【OK】ボタンを押します。
- **入力文字の切り替え**
  ソフトキー画面右上の［AB12］・［ab12］・［カナ］・［記号］キーのいずれかを選択して、【OK】ボタンで決定します。
  ☞本ページ「入力できる文字」
- **入力部のカーソル移動**
  ソフトキーの［◀］または［▶］を選択して、操作パネルの【OK】ボタンを押します。
- **文字の削除**
  ソフトキーの［←］を選択して、操作パネルの【OK】ボタンを押すと、左側に向かって 1 文字ずつ削除されます。
- **スペースの入力**
  ソフトキーの［空白］を選択して、操作パネルの【OK】ボタンを押します。
- **入力の終了**
  ソフトキーの［確定］を選択して、操作パネルの【OK】ボタンを押します。

入力できる文字

操作パネルの【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンでソフトキー画面右上の［AB12］・［ab12］・［カナ］・［記号］キーから、入力したい文字種を選択して、【OK】ボタンで決定します。

［AB12］モード

［ab12］モード

［カナ］モード

［記号］モード

参考

文字入力は、操作パネルのテンキー（数字キー）でもできます。

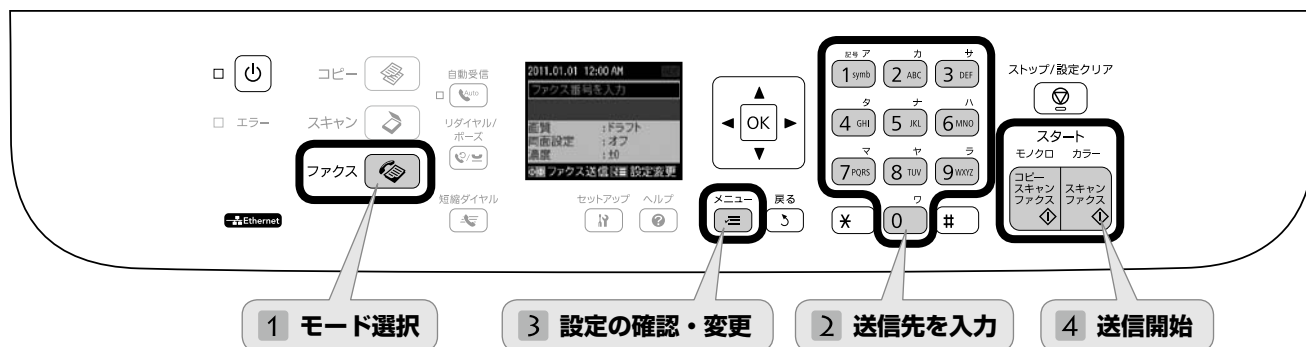
ファクス送信をする

画質・両面設定・濃度などのファクス設定をして送信します。
ファクス送信の前に、原稿がセットされていることを確認してください。
原稿のセット ☞20 ページ

参考

- 設定を変更前の状態に戻すときは、【ストップ / 設定クリア】ボタンを押します。
- 番号入力中に【リダイヤル / ポーズ】ボタンを押すと、宛先に「－」が入り、約 3 秒間の間隔（ポーズ）を設定します。
- 番号などの入力中に【◀】ボタンを押すと 1 文字戻って消去し、【▶】ボタンを押すとスペースが入ります。
- ファクス送信を中止するときは【ストップ / 設定クリア】ボタンを押します。
- ファクス送信後、相手先番号が話し中などでつながらないときは、自動で 2 回、1 分おきにリダイヤルします。

1 モード選択　3 設定の確認・変更　2 送信先を入力　4 送信開始

2011.01.01 12:00 AM ADF
ファクス番号を入力
画質 :ドラフト
両面設定 :オフ
濃度 :±0
ファクス送信 設定変更

1 ファクスモードにします。

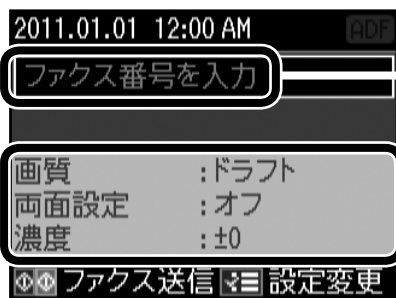
2 送信先を入力します。

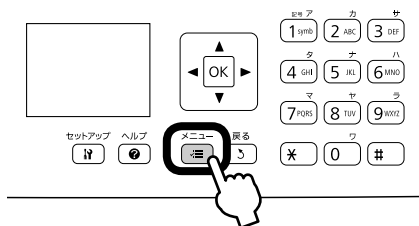
3 設定の確認をします。

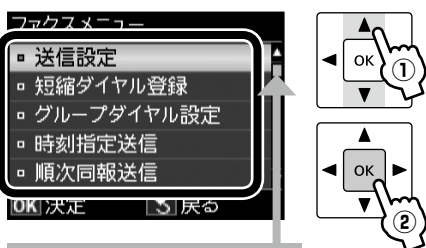
画質·濃度など、詳細なファクス設定を変更するときは、【メニュー】ボタンを押しください。
☞30 ページ「ファクス設定の変更」
原稿台にセットした原稿に合わせて設定を変更してください。ADF にセットした原稿のサイズは自動識別されます。

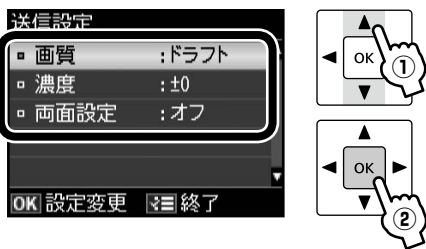
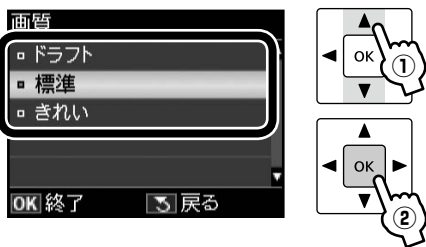
4 ファクス送信を開始します。

モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押します。

この後は、画面の指示に従って操作してください。

ファクス設定の変更

29 ページ「ファクス送信をする」の手順 3「設定の確認・変更」では、右記の設定が変更できます。なお、組み合わせによっては表示されない項目があります。

1 【メニュー】ボタンを押します。

2 【▲】か【▼】ボタンで設定メニュー(右記)を選択して、【OK】ボタンで決定します。

オレンジのバーは続きがあることを示しています。

3 【▲】か【▼】ボタンで項目を選択して、【OK】ボタンで設定値を表示させます。

4 【▲】か【▼】ボタンで設定値を選択して、【OK】ボタンで決定します。

5 【メニュー】ボタンを押して、設定メニューを閉じます。

送信設定

画質

ファクス送信時の画質を設定します。

[ドラフト]・[標準]・[きれい]

文字と写真が混在した原稿では、[きれい] を選択することをお勧めします。
ただし、原稿の内容や画質によって、ファクス送信にかかる時間が異なります。

濃度

ファクス送信時の濃度を－４～＋４の間で設定します。

両面設定

ADF から送信するモノクロ原稿が両面（オン）か片面（オフ）かを選択します。
カラー送信や原稿台からの送信は片面（オフ）を選択してください。

[オフ]・[オン]

短縮ダイヤル登録

☞36 ページ「短縮ダイヤル登録」

グループダイヤル設定

☞37 ページ「グループダイヤル設定」

時刻指定送信

☞32 ページ「時刻指定送信」

順次同報送信

☞32 ページ「順次同報送信」

ポーリング受信

☞35 ページ「ポーリング受信」

レポート印刷

☞38 ページ「レポート印刷」

いろいろなファクス送信機能

短縮ダイヤル・グループダイヤル送信

短縮ダイヤルを登録しておくと、宛先番号の入力が簡略化できます。また、短縮ダイヤルをグループにして登録しておくと、一度の操作で複数の宛先が指定できます。

参考

短縮ダイヤル・グループダイヤルの登録方法は、以下のページをご覧ください。

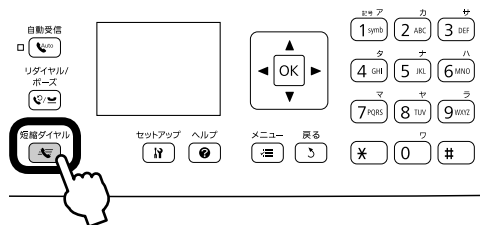
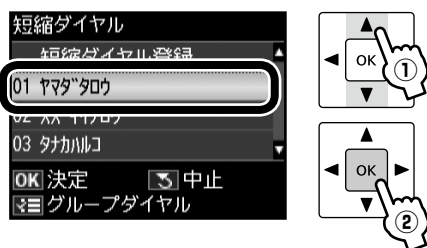
☞36 ページ「短縮ダイヤル登録」
☞37 ページ「グループダイヤル設定」

1 **原稿をセットします。**

☞20 ページ「原稿のセット」

2 **【ファクス】ボタンを押します。**

3 **【短縮ダイヤル】ボタンを押します。**

グループダイヤル送信時は 2 回押してください。

4 **宛名を選択します。**

5 **送信設定を変更するときは、【メニュー】ボタンを押します。**

☞30 ページ「ファクス設定の変更」

6 **モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押します。**

ファクス送信が開始されます。
グループダイヤル送信はモノクロのみ送信可能です。

以上で、操作は終了です。

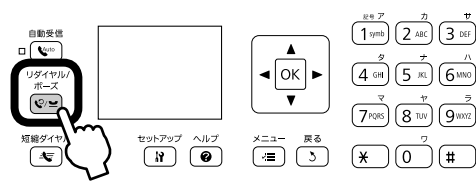
リダイヤル送信

最後に送信した宛先に、もう一度送信できます。
最後にグループダイヤル送信したときは、グループの最後にある宛先のみが送信できます。

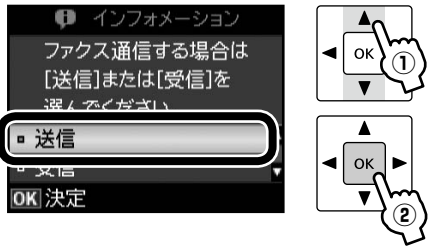
1 **原稿をセットします。**

☞20 ページ「原稿のセット」

2 **【ファクス】ボタンを押します。**

3 **【リダイヤル / ポーズ】ボタンを押します。**

4 **送信設定を変更するときは、【メニュー】ボタンを押します。**

☞30 ページ「ファクス設定の変更」

5 **モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押します。**

ファクス送信が開始されます。

以上で、操作は終了です。

手動送信

外付電話機が接続された状態で有効な送信方法です。ファクスを送信する前に通話したいときや、相手のファクスが自動的に切り替わらないときは、以下の手順で送信します。

1 **原稿をセットします。**

☞20 ページ「原稿のセット」

2 **外付電話機の受話器を上げます。**

3 **［送信］を選択します。**

4 **外付電話機から送信先にダイヤルします。**

5 **ファクス信号（「ピー」音）が聞こえたら、モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押して受話器を置きます。**

以上で、操作は終了です。

時刻指定送信

時刻を指定して送信（モノクロのみ）ができます。指定した時刻に本製品の電源が入っていることが条件です。

参考

- 指定時刻に電源が入っていなかったときは、電源を入れた時点で送信が開始されます。
- 時刻指定送信を設定すると、指定時刻までの間、他のファクス送信はできません。

1 **原稿をセットします。**

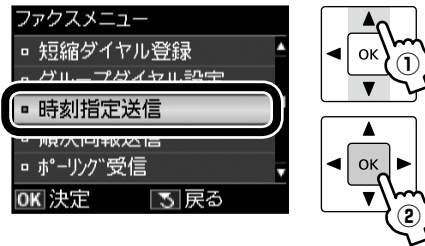
☞20 ページ「原稿のセット」

2 **【ファクス】ボタンを押します。**

3 **宛先を入力します。**

☞29 ページ「ファクスを送信する」

4 **【メニュー】ボタンを押して、［ファクスメニュー］画面を表示させます。**

5 **［時刻指定送信］を選択します。**

6 **時刻指定をするときは、［する］を選択します。**

7 **テンキー（数字キー）で時刻を入力して、【OK】ボタンを押します。**

時刻設定が［12H］表示のときは、［AM］・［PM］の選択ができます。

8 **【戻る】ボタンを押して、モノクロの【スタート】ボタンを押します。**

画面の指示に従って送信予約を完了します。
【ストップ / 設定クリア】ボタンを押すと送信予約が取り消せます。

以上で、操作は終了です。

順次同報送信

複数の宛先（最大 30 電話番号）に一括して送信（モノクロのみ）できます。

1 **原稿をセットします。**

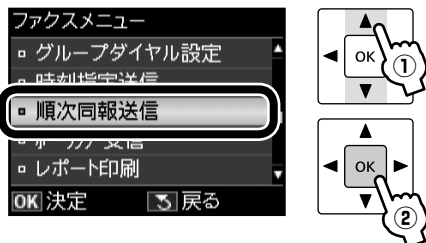
☞20 ページ「原稿のセット」

2 **【ファクス】ボタンを押します。**

3 **送信設定を変更します。**

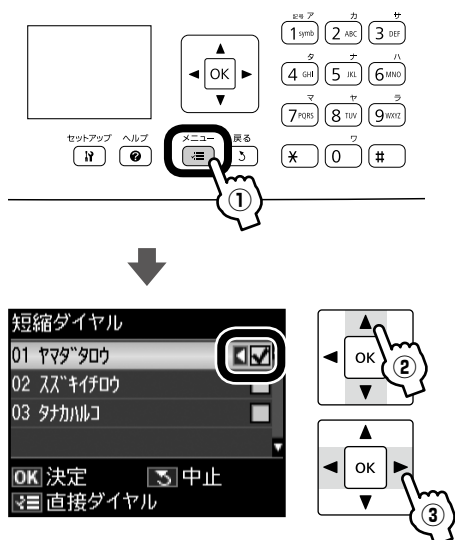
☞30 ページ「ファクス設定の変更」

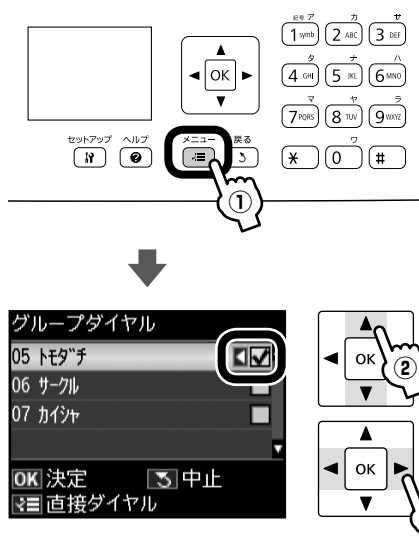
4 **【メニュー】ボタンを押して、［ファクスメニュー］画面を表示させます。**

5 ［順次同報送信］を選択します。

6 宛先番号を設定します。

「直接ダイヤル」・「短縮ダイヤル」・「グループダイヤル」の項目を組み合わせた設定もできます。
各設定画面への切り替えは、【メニュー】ボタンで行います。

<直接ダイヤル>
複数の宛先を入力するときは、以下の①～③を繰り返します。

<短縮ダイヤル>
【メニュー】ボタンを 1 回押します。

［✓］を外すときは、【◀】か【▶】ボタンをもう一度押してください。

<グループダイヤル>
【メニュー】ボタンを 2 回押します。

［✓］を外すときは、【◀】か【▶】ボタンをもう一度押してください。

> **参考**
> 「直接ダイヤル」・「短縮ダイヤル」・「グループダイヤル」を組み合わせて設定するときは、それぞれの操作を続けて行い、宛先をすべて設定してから手順 7 に進みます。
> 例えば、「短縮ダイヤル」と「グループダイヤル」を組み合わせて設定する際の手順は以下です。
> ① 上記<短縮ダイヤル>の操作で宛先を選択する。
> ②【OK】ボタンを押さずに【メニュー】ボタンを押す。
> ③ <グループダイヤル>の操作で宛先を選択する。
> ④ 手順 7 に進む。

7 宛先をすべて設定したら、【OK】ボタンを押します。

8 モノクロの【スタート】ボタンを押します。

ファクス送信が開始されます。

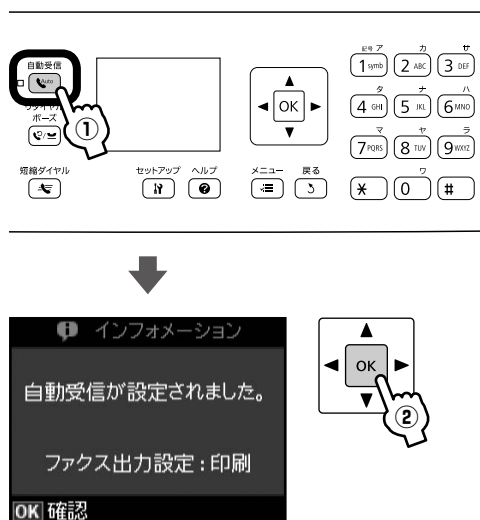
以上で、操作は終了です。

いろいろなファクス受信機能

ファクスを受信する方法は以下の 3 通りと、パソコンで受信する方法があります。詳細は『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「ファクス」－「ファクス受信の基本」をご覧ください。
ファクスの受信に備えて、常に普通紙をセットしておくことをお勧めします。また、ファクス印刷に使用する給紙装置を設定できます。
☞44 ページ「給紙装置の設定」

自動受信

ファクス利用が多い方にお勧めです。
ただし、パソコン印刷などで用紙カセットに普通紙以外の用紙をセットしているときにファクス受信すると、普通紙以外の用紙に印刷されることがあります。この場合は手動受信をお勧めします。

【自動受信】ボタンを押して、自動受信モードにします。

自動受信ランプが点灯します。
この後、ファクス信号を検出すると、設定されている回数の呼び出し音が鳴りファクスが受信されます。受信終了後、ファクスデータが印刷されます。

!重要

本製品に留守番電話機を接続して留守番電話機能を有効にしているとき、本製品が自動受信するまでの呼び出し回数は、留守番電話機の呼び出し回数より多く設定してください。少なく設定すると、先に本製品がファクス受信の応答を始めてしまうため、留守番電話機への録音や通常通話ができません。
呼び出し回数の設定方法は、以下のページをご覧ください。
☞26 ページ「呼び出し回数」

参考

- 留守番電話の応答中にファクス信号を検出したときは、自動的にファクス受信に切り替わります。
- 外付電話機が未接続で、操作パネルの［音の設定］がオフになっていると、着信音は鳴りません。
☞41 ページ「プリンターの基本設定」
- 着信中に外付電話機の受話器を上げてファクス信号（「ポー」音）が聞こえたときは、受話器を置かずにそのままお待ちください。自動的にファクス受信に切り替わります。ファクス信号が聞こえなくなり「接続中です。」という画面が表示されたら、受話器を置いてください。
- プリンターのエラー時（インクカートリッジの交換が必要なときや用紙が詰まって印刷できないとき）に受信したデータは、メモリーに記録されます。
エラーを解除するとデータの印刷ができます。
☞38 ページ「レポート印刷」

以上で、操作は終了です。

手動受信

ファクスよりもコピー・パソコン印刷・電話などの使用が多いときは、一旦電話に出て相手がファクスかどうかを確認してから受信する手動受信をお勧めします。
手動受信には外付電話機が必要です。

留守番電話応対中はファクス信号が検出できません。不在時のファクス受信は、必ず自動受信モードに切り替えてください。

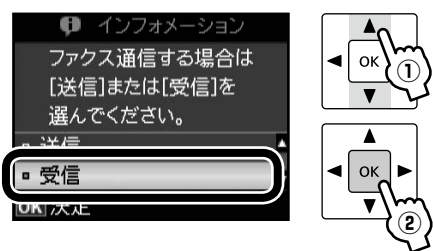
切り替え方法

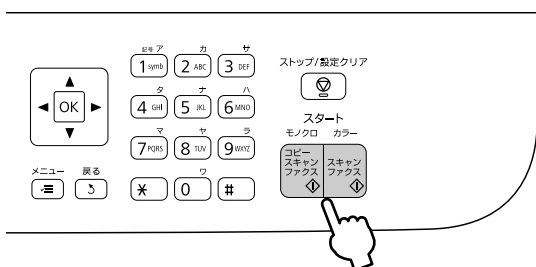
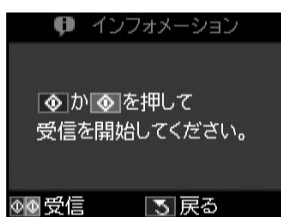
自動受信ランプが点灯しているときは、【自動受信】ボタンを押して、自動受信モードを解除してください。

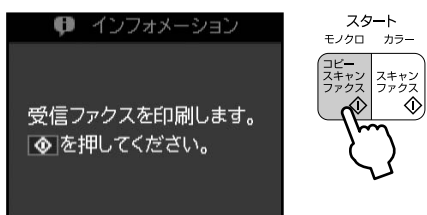
受信方法

1　外付電話機の呼び出し音が鳴ったら、受話器を上げます。

通常の電話の場合はこのまま通話してください。

2 ファクス信号（「ポー」音）が聞こえたら、[受信] を選択します。

3 モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押して、外付電話機の受話器を置きます。

ファクス受信が開始されます。

4 以下の画面が表示されたら、モノクロの【スタート】ボタンを押します。

ファクスデータが印刷されます。

参考

外付電話機の子機でファクス信号を受信したときは、通話を切らずに手順 2 以降に従ってファクスを受信してください。

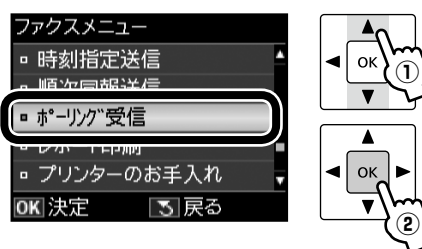
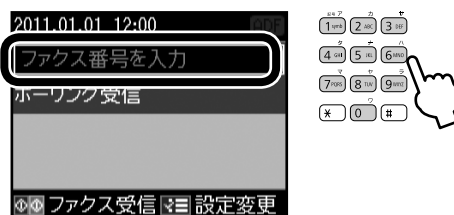
以上で、操作は終了です。

ポーリング受信

相手側のファクスに蓄積された原稿が受信できます。ファクス情報サービスなどから情報を受けるときに使用します。

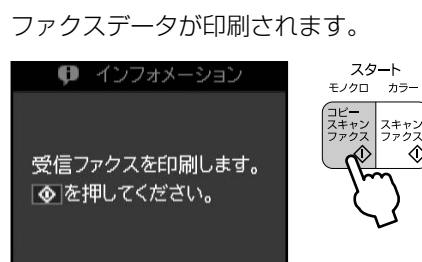
1 【ファクス】ボタンを押します。

2 【メニュー】ボタンを押して、[ファクスメニュー] 画面を表示させます。

3 [ポーリング受信] を選択します。

4 ファクス番号を入力します。

5 モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押します。

ファクス受信が開始されます。

6 以下の画面が表示されたら、モノクロの【スタート】ボタンを押します。

ファクスデータが印刷されます。

参考

- 自動受信モードでは手順 6 の画面は表示されず、自動的にファクス印刷が開始されます。
- ポーリング受信は、音声ガイダンスに従って操作するファクス情報サービスには対応していません。音声ガイダンスのファクス情報サービスを利用するには、外付電話機を接続して、手動受信の手順 2 以降に従って操作してください。
☞34 ページ「手動受信」

以上で、操作は終了です。

その他のファクス機能

短縮ダイヤル登録

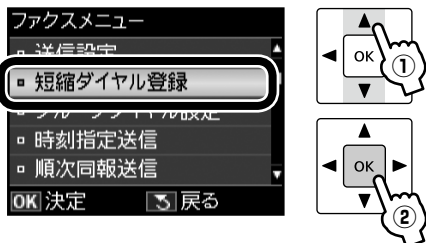
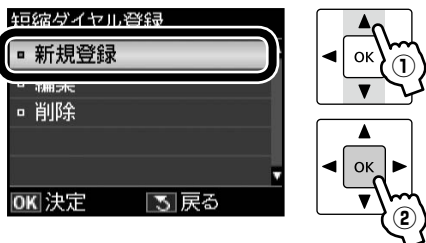
参考

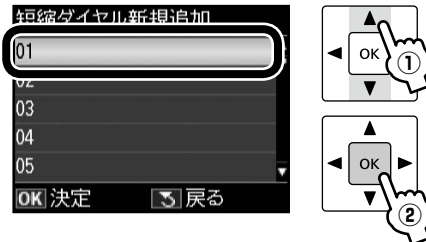
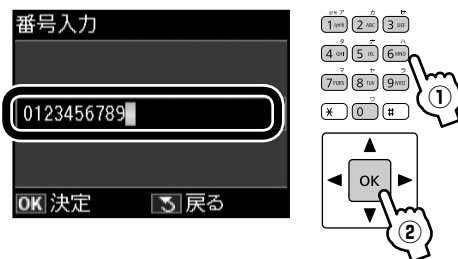
- 短縮ダイヤルでの送信方法は、以下のページをご覧ください。
  ☞31 ページ「短縮ダイヤル・グループダイヤル送信」
- 登録できるダイヤルは、短縮ダイヤル・グループダイヤル合わせて 60 件（合計 60 電話番号）です。
- 不意の故障などに備え、電話帳のデータはこまめにバックアップすることをお勧めします。また、パソコンからも電話番号の登録ができます。
  詳細は Fax Utility のヘルプをご覧ください。

1 【ファクス】ボタンを押します。

【短縮ダイヤル】ボタンを押すと、手順 3 から進めます。

2 【メニュー】ボタンを押して、[ファクスメニュー] 画面を表示させます。

3 [短縮ダイヤル登録] を選択します。

4 [新規登録] を選択します。

[編集]・[削除] を選択すると、登録済みの短縮ダイヤルの編集と削除ができます。

5 登録する番号を選択します。

6 宛先番号を入力します。

7 宛先を入力します。

ソフトキーの使い方は、以下のページをご覧ください。
☞28 ページ「ソフトキーの使い方と入力できる文字」
30 文字まで入力できます。入力できる文字種の詳細は、以下のページをご覧ください。
☞28 ページ「入力できる文字」

8 入力が終了したら、画面の [確定] を選択して、操作パネルの【OK】ボタンを押します。

以上で、操作は終了です。

グループダイヤル設定

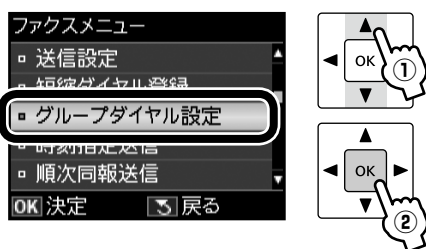
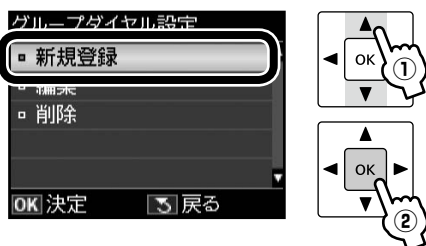
- グループダイヤルの送信方法は、以下のページをご覧ください。
  ☞31 ページ「短縮ダイヤル・グループダイヤル送信」
- 登録できるダイヤルは、短縮ダイヤル・グループダイヤル合わせて 60 件（合計 60 電話番号）です。

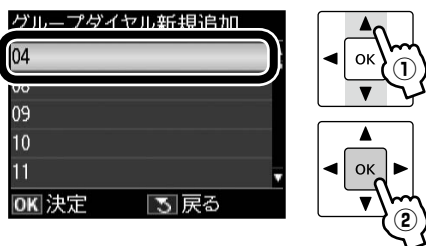
1 【ファクス】ボタンを押します。

参考

【短縮ダイヤル】ボタンを 2 回押すと、手順 3 から進めます。

2 【メニュー】ボタンを押して、[ファクスメニュー] 画面を表示させます。

3 [グループダイヤル設定] を選択します。

4 [新規登録] を選択します。

[編集]・[削除] を選択すると、設定済みのグループダイヤルの編集と削除ができます。

5 登録する番号を選択します。

6 グループダイヤル名を入力します。

ソフトキーの使い方は、以下のページをご覧ください。
☞28 ページ「ソフトキーの使い方と入力できる文字」
名前は 30 文字まで入力できます。入力できる文字種の詳細は、以下のページをご覧ください。
☞28 ページ「入力できる文字」

7 入力が終了したら、画面の [確定] を選択して、操作パネルの【OK】ボタンを押します。

8 グループにする短縮ダイヤルを選択します。

[✓]を外すときは、【◀】か【▶】ボタンをもう一度押してください。

9 宛先をすべて設定したら、【OK】ボタンを押します。

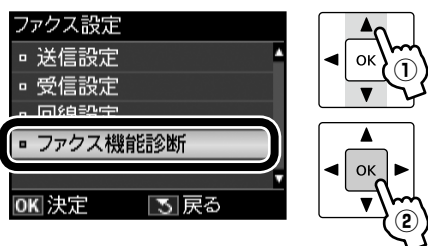
以上で、操作は終了です。

ファクス機能診断

電話回線との接続状態などがチェックできます。
チェック結果は A4 サイズの普通紙に印刷されます。

1 【セットアップ】ボタンを押します。

2 ［ファクス設定］を選択します。

3 ［ファクス機能診断］を選択します。

4 モノクロの【スタート】ボタンを押します。
ファクス機能診断レポートが印刷されます。

参考
診断結果に問題があったら、ファクス機能診断レポートに記載されている対処方法をお試しください。

以上で、操作は終了です。

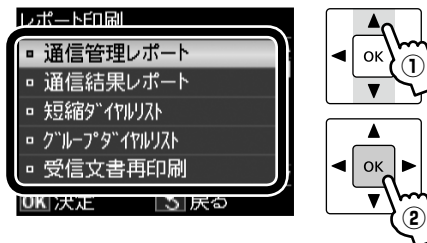
レポート印刷

ファクス送受信のレポートや短縮（グループ）ダイヤルリストが印刷できます。また、一度印刷したファクスデータの再印刷ができます。
蓄積された受信ファクスデータが本製品のメモリーをオーバーすると、古い順から削除されます。
削除されたファクスデータは再印刷できません。

1 【ファクス】ボタンを押します。

2 【メニュー】ボタンを押して、［ファクスメニュー］画面を表示させます。

3 ［レポート印刷］を選択します。

4 印刷する項目を選択します。

項目	内容
通信管理レポート	［印刷する］・［表示する］ 送受信結果の一覧を印刷・表示します。
通信結果レポート	最後にファクス送信またはポーリング受信した通信結果を印刷します。
短縮ダイヤルリスト	短縮ダイヤルの一覧を印刷します。
グループダイヤルリスト	グループダイヤルの一覧を印刷します。
受信文書再印刷	今までに受信したすべてのファクスのうち、本製品のメモリーに蓄積されているファクスデータを日付の新しい順から印刷します。
プロトコルログ	最後に送受信したファクスの詳細な通信レポートを印刷します。

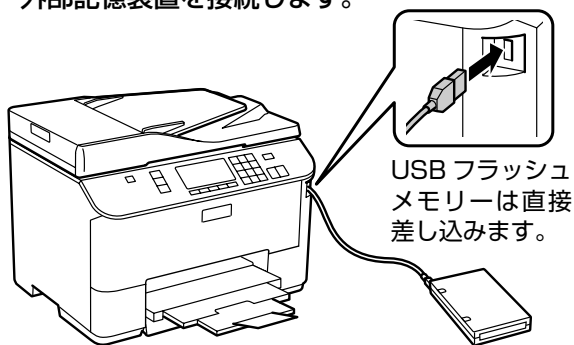
5 モノクロの【スタート】ボタンを押します。
印刷が開始されます。

以上で、操作は終了です。

スキャン

スキャンして外部機器に保存

写真や雑誌などの印刷物をスキャンしてデータ化し、HDD や USB フラッシュメモリーなどに保存します。

1 **外部記憶装置を接続します。**

2 **原稿をセットして、【スキャン】ボタンを押します。**

3 **［スキャンして外部機器に保存］を選択します。**

4 **スキャン設定を確認して、必要に応じて変更します。**

組み合わせによっては表示されない項目があります。

設定	内容
保存形式	［JPEG］・［PDF］
原稿の両面設定	［片面］・［両面］ ＊1
スキャン範囲	［A4］ 選択した用紙サイズでスキャン
	［自動キリトリ］ ＊2 文字や画像のある部分のみスキャン
	［最大範囲］ ＊2 原稿台の範囲をすべてスキャン
原稿タイプ	［文字］・［写真］ ＊2
解像度	［200dpi］・［300dpi］・［600dpi］
濃度	± 4
原稿の向き	［縦］・［横］
原稿とじ位置	［左］・［上］

＊ 1：［両面］を選択したら原稿は ADF にセットしてください。

＊ 2：原稿を ADF にセットしたときは、選択してもスキャンできません。

5 **モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押します。**

スキャンが開始されます。
スキャン後のファイル容量は、原稿サイズやスキャン設定によって異なります。

以上で、操作は終了です。

スキャンしてパソコンへ

書類や雑誌などの印刷物をスキャンしてデータ化し、パソコンに保存します。スキャンメニューの［スキャンしてパソコンへ（PDF）］・［スキャンしてパソコンへ（E メール）］も同様の手順で行えます。
この機能を使うには、本製品とパソコンを接続して、付属のソフトウェアをインストールする必要があります。

☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）-「スキャン」-「プリンター操作パネルのスキャン機能」

1 **原稿をセットし、【スキャン】ボタンを押して、スキャンメニューを選択します。**

両面原稿は ADF にセットしてください。

2 **パソコンを選択します。**

両面原稿のスキャンや、スキャン範囲の変更をするときは、【メニュー】ボタンを押して［スキャン設定］で設定してください。

3 **カラーの【スタート】ボタンを押します。**

スキャンが開始されます。

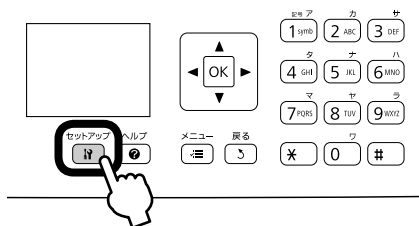
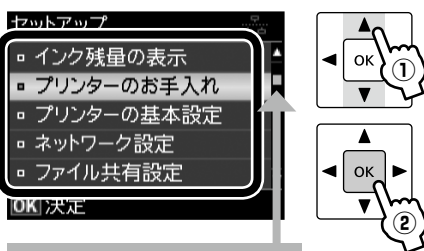
参考

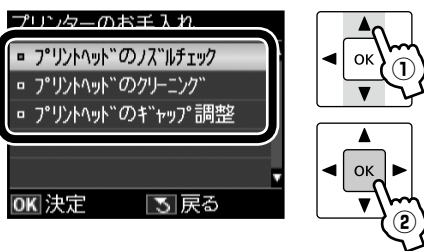
- 付属のソフトウェア「Epson Event Manager」を使用すると、ファイル形式や保存フォルダーの指定など、使用頻度の高いスキャン動作への変更ができます。
  ☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「スキャン」－「プリンター操作パネルのスキャン機能」
- コンピューター名に半角英数字以外の文字が含まれていると、スキャンデータを保存するパソコンが操作パネルに正しく表示されません。Epson Event Manager で「ネットワークスキャン名」を設定してください。設定方法はヘルプをご覧ください。

以上で、操作は終了です。

セットアップ

セットアップモードでは、プリンターの動作や操作パネルの表示・ネットワーク設定など各種設定を変更できます。

1 【セットアップ】ボタンを押します。

2 【▲】か【▼】ボタンで設定メニュー(右記)を選択して、【OK】ボタンで決定します。

オレンジのバーは続きがあることを示しています。

3 【▲】か【▼】ボタンで項目を選択して、【OK】ボタンで決定します。

参考

- 手順 2 で選択したメニューによって、操作が異なります。
  画面の説明に従って操作してください。
- セットアップモードを終了するときは、他のモード（コピー・スキャン・ファクス）ボタンを押してください。

インク残量の表示

インク残量（表示は目安）を確認します。
インクが少なくなると「！」マークが表示されます。しばらくは印刷できますが、早めに新しいインクカートリッジを用意することをお勧めします。

インク残量が限界値以下になると、「×」マークが表示されます。

プリンターのお手入れ

プリントヘッドのノズルチェック

☞49 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

プリントヘッドのクリーニング

☞49 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

プリントヘッドのギャップ調整

プリントヘッドのギャップ調整をします。
印刷結果がぼやけているときや、文字や罫線がガタガタになるときなどにお試しください。

- 用紙カセット 1 に A4 サイズの普通紙をセットしてください。
- 改善されないときはパソコンに接続して、プリンタードライバーからのギャップ調整をお試しください。
  ☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「メンテナンス」－「印刷のずれ（ギャップ）調整」

プリンターの基本設定

給紙装置の用紙サイズ設定

用紙カセットや背面 MP トレイごとに用紙サイズを選択します。

[用紙カセット 1]：A5・A4・B5・Letter・Legal
[用紙カセット 2]：A4・B5・Letter・Legal
[背面 MP トレイ]：A4･B5･L 判･2L 判･KG サイズ･六切･その他のサイズ

☞44 ページ「給紙装置の用紙サイズ設定」

こすれ軽減

印刷結果がこすれて汚れているときに設定します。

[しない]・[する]

［する］に設定すると、印刷速度が遅くなることがあります。印刷こすれが発生したときのみお使いください。電源を切ると［しない］に戻ります。

両面・乾燥時間

両面コピー時の乾燥時間を選択します。

[標準]・[長い]・[より長い]

印刷結果にこすれが発生するときは［長い］・［より長い］を選択してください。

音の設定

パネルの操作音やファクスの着信音を設定します。

[オン]・[オフ]

日付 / 時刻設定

日時や時刻を設定します。

[年 . 月 . 日]・[月 . 日 . 年]・[日 . 月 . 年]
[12h]・[24h]

☞『準備ガイド』－「日時の設定」

言語選択 /Language

操作パネルに表示される言語を選択します。

[日本語]・[English]

用紙サイズのチェック

給紙する用紙サイズが設定と合っていないとき、エラーを案内します。

[エラーを案内しない]・[エラーを案内する]

ネットワーク設定

ネットワークに関する設定をします。

- 操作パネルの設定中に電源を切ったり電源プラグを抜いたりしないでください。本製品が正常に動作しなくなるおそれがあります。
- 設定値の入力はソフトキーで行います。ソフトキーの使い方は、以下のページをご覧ください。
  ☞28 ページ「ソフトキーの使い方と入力できる文字」

ネットワーク基本設定

ネットワーク接続に必要なプリンター名・TCP/IP の設定をします。

ネットワーク接続診断

ネットワークの接続状態を診断します。
また、診断結果を印刷すると、詳細な情報が確認できます。印刷した診断結果の見方は以下をご覧ください。

☞『ネットワークガイド』（電子マニュアル）－「トラブル解決」-「接続のトラブル」

ネットワーク情報確認

ネットワークの設定と接続状態が確認できます。
ステータスシートを印刷すると、詳細な情報が確認できます。

ファイル共有設定

接続しているパソコンから外部記憶装置のファイルにアクセスするときのモードを設定します。
優先にした接続形態からの読み書きは可能ですが、他方は読み取りのみになります。

USB 接続優先

USB 接続したパソコンから、外部記憶装置への読み書きが可能です。

ネットワーク接続優先

ネットワーク接続したパソコンから、外部記憶装置への読み書きが可能です。

ファクス設定

送信設定

[画質]・[濃度]・[両面設定]

☞30 ページ「送信設定」

[結果レポート]

通信結果レポートの印刷条件を設定します。

[エラー時のみ]・[する]・[しない]

[する]を選択すると、送信後毎回レポートが印刷されます。

受信設定

[ファクス給紙装置設定]

給紙する用紙カセットを選択します。

[用紙カセット 1]：使用する・使用しない
[用紙カセット 2]：使用する・使用しない
[背面 MP トレイ]：使用する・使用しない

用紙カセット 1・2、背面 MP トレイに異なるサイズの普通紙をセットし、すべて[使用する]を選択すると、受信データに合った用紙サイズから給紙します。

[自動縮小印刷]

受信データのサイズが用紙サイズより長いときに、縮小印刷するかしないかを設定します。
ただし、データによっては縮小されないことがあります。

[する]・[しない]

[ファクス出力設定]

受信したデータの出力先を確認します。

[印刷]・[保存]

初期値は[印刷]です。[保存](パソコンに受信)はパソコンから Fax Utility で設定します。
詳細は『ユーザーズガイド』(電子マニュアル)−「ファクス」−「ファクス受信の基本」をご覧ください。

回線設定

[エラー訂正(ECM)]

回線トラブルなどを自動的に修復する ECM 機能を有効にするかしないかを設定します。

[する]・[しない]

[通信開始速度]

通信開始の速度を設定します。

[33,600bps]・[14,400bps]

通信エラーが頻繁に起きるときや、海外または IP 電話環境で通信するときは、[14,400bps]に設定することをお勧めします。

[呼び出し回数]

着信してからファクスを受信するまでの呼び出し回数を 1 〜 15 の間で設定します(初期値 5)。
ただし、回数を多くし過ぎると、送信側の設定によっては受信できないことがあります。

☞26 ページ「呼び出し回数」

[ダイヤルトーン検出]

ダイヤルトーンを検出してからダイヤルを開始するかどうかを設定します。

[する]・[しない]

[する]に設定すると､早く確実にダイヤルできます。
接続環境によってダイヤルできないときは、[しない]に設定してください。
ただし、環境によっては番号の最初が抜けるなど誤った番号に接続されてしまう可能性があります。

[回線種別]

電話回線の回線種別を設定します。

☞26 ページ「回線種別」

[プッシュ]

プッシュ回線(電話機のダイヤルボタンを押したときに「ピッポッパ」という音がするタイプの回線)をお使いのときに選択してください。

[ダイヤル(10PPS)]・[ダイヤル(20PPS)]

ダイヤル回線(電話機のダイヤルボタンを押したときに「カタカタカタ」または「ジージージー」という音がするタイプの回線)をお使いのときに選択してください。

[自局設定]

☞27 ページ「自局設定」

ファクス機能診断

☞38 ページ「ファクス機能診断」

本体ステータスシートの印刷

ステータスシートを印刷すると、現在のプリンターの状態や設定値が確認できます。

設定をパスワードでロック

管理者以外は設定値の変更ができないように設定します。
設定項目を変更したいときは、パスワードを入力します。ロックされたすべての項目を一括で解除するには、[購入時の設定に戻す] の [すべての設定] を選択します。

[ロックする]・[ロックを解除する]・[パスワードを変更する]
ロックされる項目は以下の通りです。
[セットアップ] モードの [プリンターの基本設定]・[ネットワーク設定]・[ファイル共有設定]・[ファクス設定]・[設定をパスワードでロック]・[購入時の設定に戻す]
☞28 ページ「ソフトキーの使い方と入力できる文字」

購入時の設定に戻す

ファクス通信設定

ファクスの送信・受信・回線の設定を購入時の状態に戻します。

ファクス登録データのクリア

ファクス短縮ダイヤル・グループダイヤル・自局設定を購入時の状態に戻します。

ネットワーク設定

ネットワーク設定を購入時の設定に戻します。

ネットワークとファクス設定以外

ネットワークとファクス以外の設定を購入時の状態に戻します。

すべての設定

すべての設定を購入時の設定に戻します。

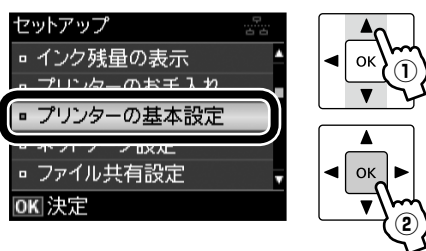
給紙装置の設定

給紙装置の用紙サイズ設定

給紙装置の用紙カセット 1・2（オプション）や背面 MP トレイに用紙をセットしたら、給紙装置ごとに用紙サイズを設定します。

プリンタードライバーの［給紙装置のサイズ設定］からも用紙サイズが設定できます。プリンターをパスワードでロックしていても設定は変更されるため、印刷する前に設定状況を確認してください。

1 【セットアップ】ボタンを押します。

2 ［プリンターの基本設定］を選択します。

3 ［給紙装置の用紙サイズ設定］を選択します。

4 設定する給紙装置を選択します。

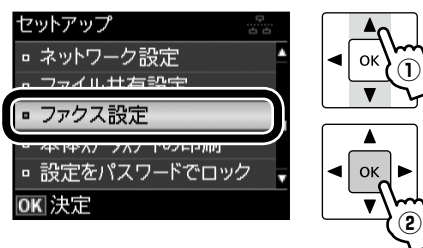
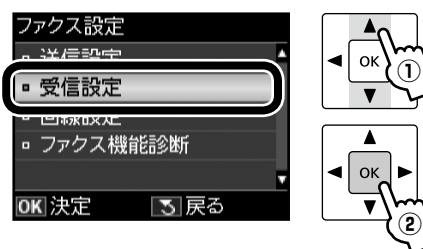
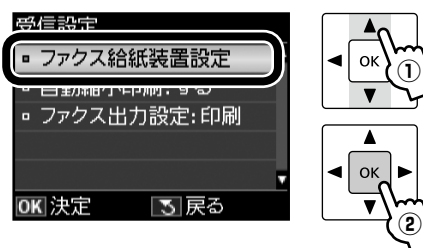
5 給紙装置にセットした用紙サイズを選択します。

以上で、操作は終了です。

ファクス給紙装置設定

受信したファクスを印刷するときに、使用する給紙装置を設定します。

1 【セットアップ】ボタンを押します。

2 ［ファクス設定］選択します。

3 ［受信設定］を選択します。

4 ［ファクス給紙装置設定］を選択します。

5 給紙装置ごとに［使用する］または［使用しない］を選択します。

以上で、操作は終了です。

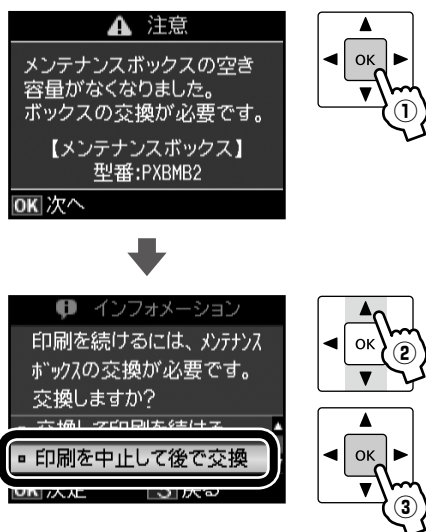
メンテナンスボックスの交換

メンテナンスボックスは、クリーニング時や印刷時に排出される廃インクをためる容器です。いっぱいになると、ボックスを交換するまで印刷できません（インクあふれ防止のため）。
メンテナンスボックス交換のメッセージが表示されたら、以下の手順に従ってください。

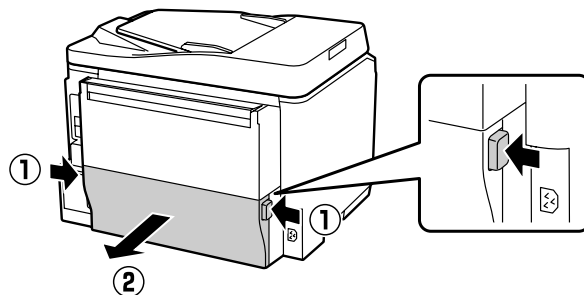
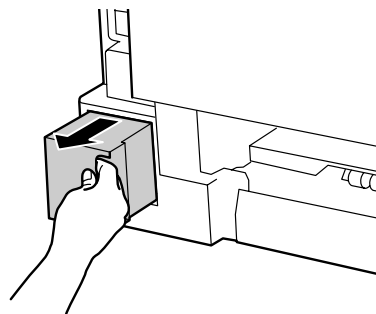
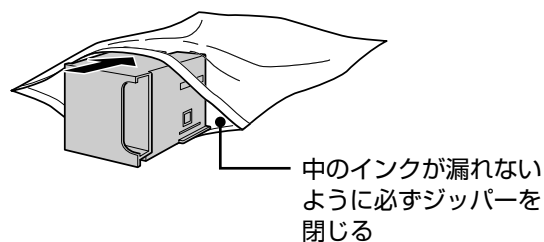
メンテナンスボックス型番：PXBMB2

⚠注意
インクが皮膚についてしまったり、目に入ったりしたときは、すぐに水で洗い流してください。

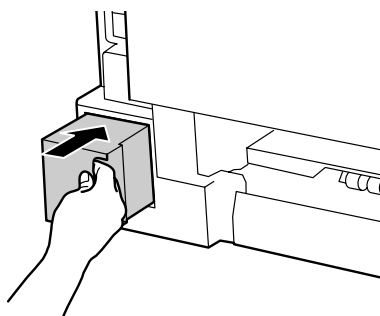
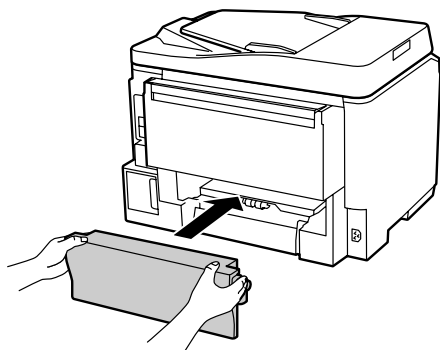
!重要
- 取り外して長期間放置したメンテナンスボックスは、再使用しないでください。内部のインクが固化し、インクを吸収できません。
- 印刷中はメンテナンスボックスを交換しないでください。廃インクが漏れることがあります。
- メンテナンスボックスの基板（IC チップ）に触らないでください。正常な動作・印刷ができなくなるおそれがあります。

参考
メンテナンスボックスの空き容量がなくなると、印刷はできませんが、ファクスの送信や外部機器にデータを保存するなどの操作はできます。
以下の画面が表示されたら画面の指示に従い、［印刷を中止して後で交換］を選択して、【OK】ボタンを押してください。

1 新しいメンテナンスボックスを箱から取り出します。

2 背面ユニットを取り外します。

背面ユニットの左右のボタンを押して取り外してください。

3 使用済みメンテナンスボックスを引き出します。

4 使用済みメンテナンスボックスを透明袋に入れて密封します。

!重要
メンテナンスボックスは密封するまで傾けないでください。インクが漏れることがあります。

参考
使用済みのメンテナンスボックス回収については、以下のページをご覧ください。
☞裏表紙「メンテナンスボックスの回収」

5　保護材を取り外し、新しいメンテナンスボックスをセットします。

6　背面ユニットを取り付けます。

7　【OK】ボタンを押します。

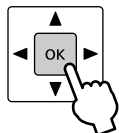
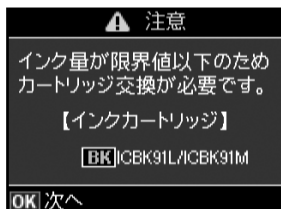
以上で、操作は終了です。

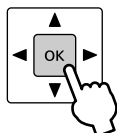
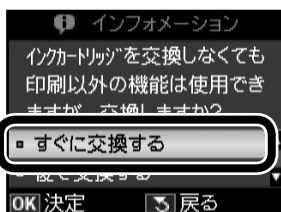
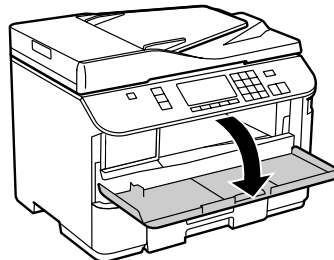
インクカートリッジの交換

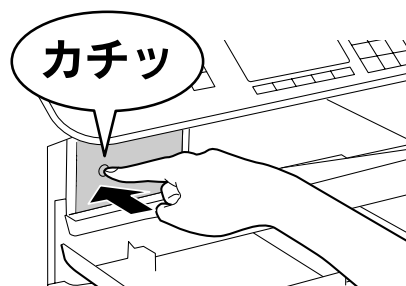
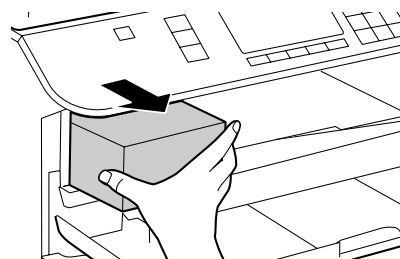
交換のメッセージが表示されたら、以下の手順に従ってください。
メッセージが表示される前に交換を行うときは、手順 3 から作業してください。

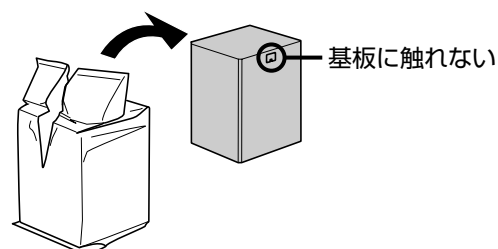
注意
交換の前に、以下の注意事項をご確認ください。
☞7 ページ「インクカートリッジに関するご注意」

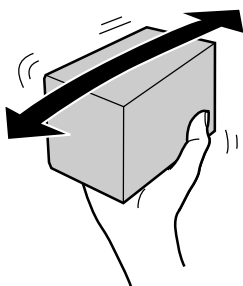
参考
- コピー中に交換すると、原稿の位置がずれる可能性があります。【ストップ / 設定クリア】ボタンを押してコピーを中止し、残りのコピーを原稿のセットからやり直してください。
- 大量に印刷するときは、インク残量を確認して、予備のインクカートリッジを用意してください。
  インク残量は、【セットアップ】ボタンを押して［インク残量の表示］を選択すると確認できます。

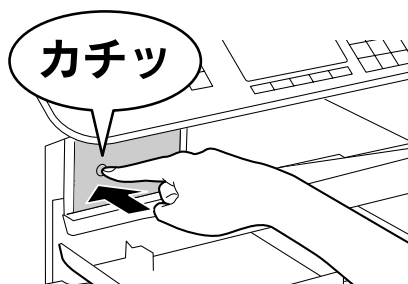
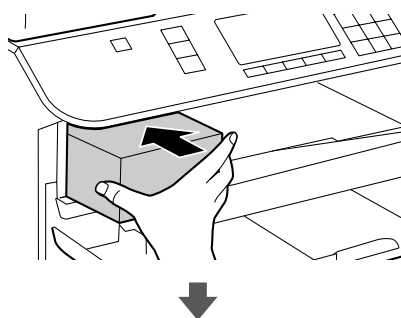
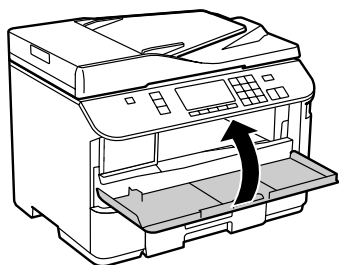
1 **以下の画面が表示されたら【OK】ボタンを押します。**

画面にはエプソンの純正インクカートリッジ型番が表示されます。純正品のご使用をお勧めします。
☞ 裏表紙「インクカートリッジのご案内」

2 **［すぐに交換する］を選択して、【OK】ボタンを押します。**

3 **前面カバーを開けます。**

4 **交換するインクカートリッジを押します。**

「カチッ」と音がしてカートリッジが少し飛び出します。

5 **交換するインクカートリッジを取り外します。**

重要
取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。

6 **新しいインクカートリッジを袋から取り出します。**

つづく

7 **インクカートリッジを水平方向に 5 秒間（15 回程度）振ります。**

8 **新しいインクカートリッジをセットします。**

「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。

9 **前面カバーを閉じます。**

以上で、操作は終了です。

ノズルチェックとヘッドクリーニング

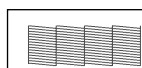
プリントヘッドのノズルが目詰まりすると、印刷がかすれたり、スジが入ったりします。印刷品質に問題があるときは、ノズルチェック（目詰まり確認）をしてください。

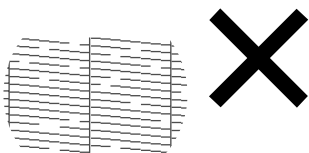
！重要

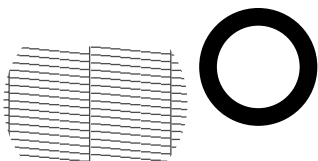
ヘッドクリーニング中は、電源をオフにしないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

1　【セットアップ】ボタンを押して、[プリンターのお手入れ] － [プリントヘッドのノズルチェック] の順に選択します。

画面の説明に従ってノズルチェックパターンを印刷してください。

2　ノズルチェックパターンを確認します。

ノズルチェックパターン

■印刷されないラインがある

ノズルは目詰まりしています。
手順 3 に進んでください。

■すべてのラインが印刷されている

ノズルは目詰まりしていません。
[ノズルチェック終了] を選択して、【OK】ボタンを押してください。

参考

ノズルチェックパターンは明るい場所で確認してください。電球色の蛍光灯などの下で確認すると、ノズルチェックパターンが正しく確認できないことがあります。

3　[ヘッドクリーニング] を選択します。

画面の説明に従ってヘッドクリーニングを実行してください。

4　モノクロの【スタート】ボタンを押します。

5　ヘッドクリーニングが終わったら、[ノズルチェック]を選択し、再度ノズルチェックパターンを印刷して確認します（手順 2 に戻ります）。

ノズルチェックパターンのすべてのラインが印刷されるまで、ノズルチェックとヘッドクリーニングを繰り返してください。

参考

- ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に４回程度繰り返しても目詰まりが解消されないときは、印刷しない状態で６時間以上放置*した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。時間をおくことによって、目詰まりが解消し、正常に印刷できるようになることがあります。それでも改善されないときは、エプソンの修理窓口に修理をご依頼ください。
☞68 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

＊：ファクスの自動受信などで印刷動作が入った場合は放置時間を延長してください。電源を切って放置することをお勧めします。

- ヘッドクリーニングは必要以上に行わないでください。インクを吐出してクリーニングするため、インクが消費されます。
- プリントヘッドが乾燥して目詰まりすることを防ぐため、電源のオン / オフは必ず【電源】ボタンで行ってください。
- プリントヘッドを常に最適な状態に保つために、定期的に印刷することをお勧めします。

以上で、操作は終了です。

詰まった用紙の取り除き

⚠注意
製品内部に手を入れて用紙を取り出すときは、操作パネルのボタンには触らないでください。また、突起などでけがをしないように注意してください。

!重要
用紙はゆっくりと引き抜いてください。勢いよく引っ張ると、本製品が故障することがあります。

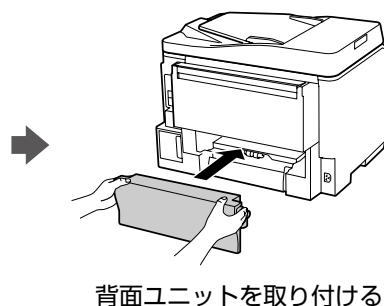
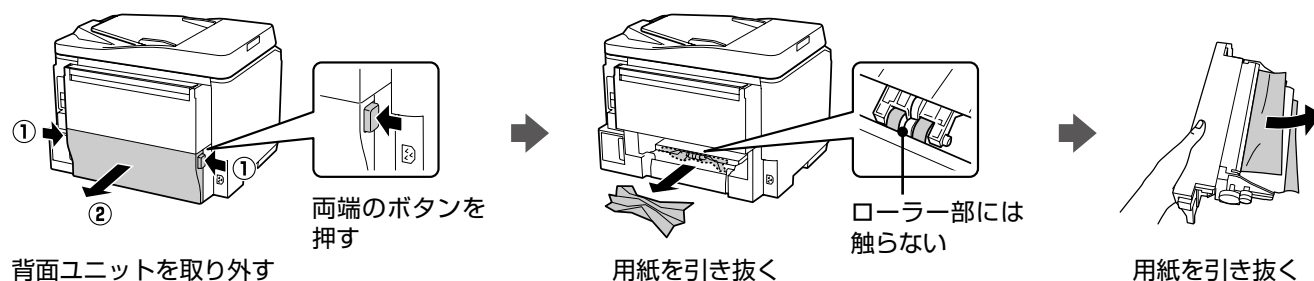
画面の指示に従い、用紙が詰まっている（紙片がちぎれて残っている）箇所を確認して取り除いてください。
電源を切る指示が表示されたら、電源を切ってください。

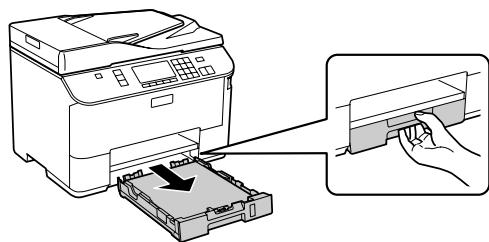
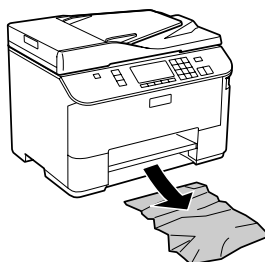
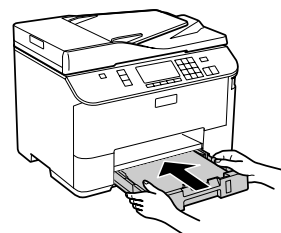
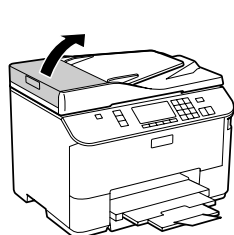
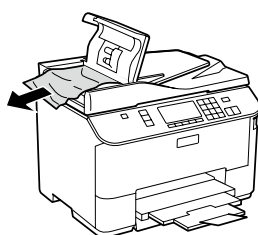
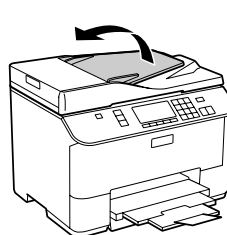
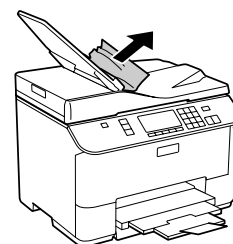
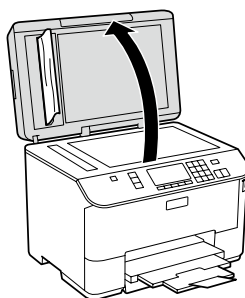
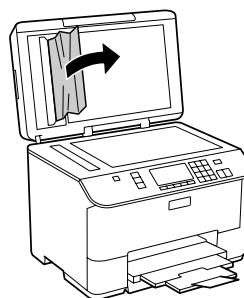
プリンター背面部

背面ユニットを取り外す　用紙を引き抜く　用紙を引き抜く

背面ユニットを取り付ける

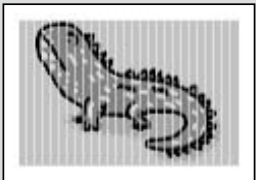
プリンター内部

前面カバーを開ける　用紙を引き抜く　前面カバーを閉じる

用紙カセット部

用紙カセットを引き抜く手順は用紙カセット 1・2（オプション）とも同様です。

用紙カセットを引き抜く　用紙を引き抜く　用紙カセットをセットする

オートドキュメントフィーダー部

ADF カバーを開ける　用紙を引き抜く　ADF を起こす　用紙を引き抜く

ADF を倒す　原稿カバーを開ける　用紙を引き抜く

トラブル対処

電源・操作パネル

症状・トラブル状態	対処方法
電源が入らない 電源ランプが点滅・点灯しない	• 【電源】ボタンを長めに押してください。 • 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。 • 壁などに固定されているコンセントに直接接続してください。
電源が切れない	【電源】ボタンを長めに押してください。それでも電源が切れないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、プリントヘッドの乾燥を防ぐため、電源を入れ直して【電源】ボタンを押して電源を切ってください。
液晶ディスプレイが暗くなった	液晶ディスプレイがスリープモードになっています。いずれかのボタンを押すと、操作画面が表示されます。

※ 画面に表示されたメッセージの内容がわからないときは、以下のページをご覧ください。
☞59 ページ「メッセージが表示されたら」

給紙・排紙

症状・トラブル状態	対処方法
用紙が詰まった	無理やり引き抜かないでください。以下のページの手順に従って取り除いてください。 50 ページ「詰まった用紙の取り除き」
斜めに給紙される 重なって給紙される 用紙が給紙されない 用紙が排出されてしまう	• 用紙カセット 1・2（オプション）または、背面 MP トレイにセットした用紙のサイズと、操作パネルの［給紙装置の用紙サイズ設定］を合わせてください。 44 ページ「給紙装置の用紙サイズ設定」 • 用紙を正しくセットしてください。特に、用紙のセット時には必ずエッジガイドを合わせてください。 16 ページ「印刷用紙のセット」 • 本製品で印刷できる用紙をお使いください。 12 ページ「印刷用紙の種類と設定」 • 水平な場所に設置されているか、使用環境に問題がないかを確認してください。 63 ページ「総合仕様」－「動作時の環境」 • 製品内部のローラーが汚れている可能性があります。A4 サイズの普通紙を使ってローラーをクリーニングしてください。 55 ページ「用紙が汚れる」－「内部のクリーニング方法」 • 印刷処理が一定の時間中断された可能性があります。印刷処理が一定の時間中断されると、印刷中の用紙が排出されます。 • オプションの増設カセットユニットを取り付けているときは、［セットアップ］－［本体ステータスシートの印刷］でステータスシートを印刷して、用紙カセット 2 が表示されているかを確認してください。表示されていないときは、取り付け直してください。 上記の作業を行っても改善しないときは、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。 68 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」
ADF から原稿が給紙されない	ADF 内部が汚れている可能性があります。 62 ページ「オートドキュメントフィーダーの清掃」

印刷品質

症状・トラブル状態	対処方法
かすれる スジや線が入る 印刷にムラがある モザイクがかかったように印刷される インクが出ない（白紙で印刷される）	• ノズルが目詰まりしている可能性があります。プリントヘッドの状態を確認してください。 ☞49 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」 • インクカートリッジは推奨品（エプソン純正品）を使用することをお勧めします。 • 古くなったインクカートリッジは使用しないことをお勧めします。 ☞47 ページ「インクカートリッジの交換」 • プリントヘッドの位置がずれている可能性があります。ギャップ調整を行ってください。 ☞40 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」 上記の調整をしても改善されないときは、プリンタードライバーからのギャップ調整をお試しください。 ☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「メンテナンス」－「印刷のずれ（ギャップ）調整」 • 印刷後の用紙は、十分に乾燥させてから保存してください。 印刷後の用紙を乾かすときには、直射日光に当てたり、印刷面を重ねたり、ドライヤーを使ったりしないでください。 • セットした用紙の種類と、印刷設定の［用紙種類］を合わせてください。 ☞15 ページ「［用紙種類］の設定」 • 印刷品質の高いモード（［きれい］）での印刷をお試しください。普通紙で印刷するときに、［印刷品質］を［標準品質］に設定すると、スジが見えることがあります。
約 2.5cm 間隔でスジが入る 文字や罫線がガタガタになる	• プリントヘッドの位置がずれている可能性があります。ギャップ調整を行ってください。 ☞40 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」 上記の調整をしても改善されないときは、プリンタードライバーからのギャップ調整をお試しください。 ☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「メンテナンス」－「印刷のずれ（ギャップ）調整」
コピーでムラ・シミ・斑点が出る 裏写りする	• 原稿台や原稿カバーに付いているゴミや汚れを取り除いてください。 • 通紙（給排紙）をして、製品内部をクリーニングしてください。 ☞55 ページ「用紙が汚れる」－「内部のクリーニング方法」 • ADF のローラーに付いているゴミや汚れを取り除いてください。 ☞62 ページ「オートドキュメントフィーダーの清掃」 • 原稿カバーや原稿を強く押さえ付けないでください。 • 原稿の紙が薄いときは、原稿台からコピーしてください。また、裏側に黒い紙や下敷きを重ねてコピーしてください。

症状・トラブル状態	対処方法
用紙が汚れる	• コピー濃度を下げてください。 ☞22 ページ「コピーをする」 • 原稿台や原稿カバーに付いているゴミや汚れを取り除いてください。 汚れているときは、柔らかい布でふき取ってください。 • 通紙（給排紙）をして、製品内部をクリーニングしてください。 <内部のクリーニング方法> 用紙カセットに A4 サイズの普通紙（コピー用紙など）をセットして、原稿をセットせずにコピーを実行してください。用紙にインクの汚れが付かなくなるまで、繰り返してください。 コピーの手順は、以下のページをご覧ください。 ☞22 ページ「コピーをする」 製品内部は布やティッシュペーパーなどでふかないでください。繊維くずなどでプリントヘッドが目詰まりすることがあります。 • 両面に印刷するときは、印刷した面を十分に乾かしてから裏面に印刷してください。 ハガキに印刷するときは、宛名面から先に印刷することをお勧めします。 • 本製品で印刷できる用紙をお使いください。 ☞12 ページ「使用できる用紙」 • 用紙は正しい方向にセットしてください。 ☞16 ページ「印刷用紙のセット」 • 印刷後の用紙は、十分に乾燥させてから保存してください。 印刷後の用紙を乾かすときには、直射日光に当てたり、印刷面を重ねたり、ドライヤーを使ったりしないでください。 • 両面コピーをするときは、［両面・乾燥時間］を設定してください。 ☞41 ページ「両面・乾燥時間」
ハガキに縦長の写真を印刷すると、宛名面と上下が逆になってしまう	ハガキのセット向きを上下逆にしてください。 縦長写真のデータは、撮影時の条件（カメラの向きや仕様）によって、写真の上下（天地）が異なります。
印刷がずれる・はみ出す	• エッジガイドを用紙の側面に合わせてください。 ☞16 ページ「印刷用紙のセット」 • 原稿台や原稿カバーに付いているゴミや汚れを取り除いてください。コピー時はゴミや汚れの範囲までコピーされ、印刷位置が大きくずれることがあります。 • 原稿を正しくセットしてください。 ☞20 ページ「原稿のセット」 • セットした用紙のサイズと､印刷設定の［用紙サイズ］を合わせてください。 ☞24 ページ「用紙サイズ」
画像が縮小される	柔らかい布でガラス面をふいてください。

ファクス

症状・トラブル状態	対処方法
ファクスの送信も受信もできない 外付電話機で通話ができない	・［ファクス機能診断］をして、シートに記載されている方法で対処してください。 ☞38 ページ「ファクス機能診断」 ・対応している電話回線に接続してください。 ☞63 ページ「ファクス部基本仕様」－「対応回線」 ・電話回線に正しく接続されているかを確認してください。 ☞『準備ガイド』－「電話回線と接続」 外付電話機の受話器を上げて「ツー」と音が聞こえるか確認してください。電話とファクスを 1 つの電話番号で使っている場合は、電話回線に接続した本製品の EXT. ポートに外付電話機を接続してください。 ・外付電話機を接続しているときは、受話器が上がっていないか（話し中になっていないか）確認してください。 ・「通信エラー」と表示されたら、回線状況が不安定になっている可能性があります。繰り返しまたは頻繁に発生するときは、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。 ☞68 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」 ・通信開始速度を 14,400bps にしてください。 ☞42 ページ「回線設定」
ファクスを送信できない	・［ファクス機能診断］をして、シートに記載されている方法で対処してください。 ☞38 ページ「ファクス機能診断」 ・ご使用の回線と［回線種別］の設定を合わせてください。 ☞26 ページ「回線種別」 ・「ダイヤルトーンがありません。」と表示されたら、ファクス回線設定の［ダイヤルトーン検出］を［しない］に設定してください。 ☞42 ページ「回線設定」 ・ADSL 回線では、スプリッターなどの装置を外してモジュラージャックに本製品を直接接続してファクスを送信してみてください。正常に送信できれば、本製品には問題はありません。インターネットサービスプロバイダーや IP 電話プロバイダーへお問い合わせください。 ・自局番号が登録されているか確認してください。送信先の設定によっては、自局番号が登録されていないと受け付けてくれないことがあります。 ☞27 ページ「自局設定」 ・番号非通知設定になっていないか確認してください。送信先の設定によっては、番号非通知設定になっていると受け付けてくれないことがあります。番号通知設定に変更して送信してください。 ・日付と時刻が設定されているか確認してください。 ［日付 / 時刻設定］が正しく設定されていないと、時刻指定送信はできません（設定項目が表示されません）。 ☞41 ページ「日付 / 時刻設定」 ・「応答がありません。」と表示されたら、以下を確認してください。 ・宛先ファクス番号が間違っていないか ・送信先のファクス機が受信できる状態になっているか 問題がなければ、しばらく時間をおいてから送信し直してください。

症状・トラブル状態	対処方法
特定送信先にファクス送信できない（毎回エラーが表示される）	ダイヤル終了後 50 秒間は相手先の応答を待ちますが、応答が 50 秒以上かかる場合はエラーになります。外付電話機を接続して手動送信し、ファクス信号（ピー音）が聞こえるまでの時間をご確認ください。 ☞32 ページ「手動送信」 50 秒以上かかる場合は、電話番号＋「ポーズ」を入力して送信してください。ポーズ 1 回につき、約 3 秒間ファクス送信が遅延されますので、必要に応じて「ポーズ」を増やしてください。
ファクスを受信できない	• ファクスの自動受信をオンにしてください。外付電話機が接続されていないときに自動受信をオフにするとファクスを受信できません。 ☞34 ページ「自動受信」 • ボイスワープなどの電話転送サービスからの転送ファクスは受信できません。電話転送サービスの設定の詳細は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。 • 呼び出し回数を多くし過ぎると、送信側のファクス設定によって受信できないことがあります。 ☞26 ページ「呼び出し回数」 • 受信設定の［ファクス出力設定］を［印刷］に設定してください。 ☞42 ページ「受信設定」 • システムエラーなど本製品の電源をオフにする必要のあるエラーや、本製品のメモリーがいっぱいになったときは、ファクスを受信できません（このとき本製品では呼び出し音が鳴り続けます）。本製品にエラーが発生しているときは、エラーを解除してください。 • PBX 環境（企業などの内線電話）で、ファクス受信できない場合は、呼び出し回数を 1 回にしてみてください。
ファクスをきれいに送信できない	• 原稿台と ADF に付いているゴミや汚れを取り除いてください。 • 文字と写真が混在した原稿では、［きれい］を選択することをお勧めします。 ☞42 ページ「送信設定」 • 送信ファクスの濃度を調整してみてください。 ☞42 ページ「送信設定」
ファクスをきれいに受信できない	• 回線設定の［エラー訂正（ECM）］を［する］に設定してください。 ☞42 ページ「回線設定」 • 送信元に、ファクス原稿や読み取り部分に汚れがないか確認してください。また、より画質の高いモードで送信し直すように依頼してみてください。 • 受信したファクスを印刷し直してみてください。 ☞38 ページ「レポート印刷」
本製品が先に応答してしまうため、音声通話ができない	• 留守番電話機を接続しているときは、留守番電話機と本製品の呼び出し回数の設定を確認してください。 本製品が自動受信するまでの呼び出し回数は、留守番電話機の呼び出し回数より多く設定してください。少なく設定すると、先に本製品が応答してファクス受信が始まるため、留守番電話機への録音や通常通話ができません。 ☞26 ページ「呼び出し回数」

その他

症状・トラブル状態	対処方法
ヘッドクリーニングが動作しない	• 本製品にエラーが発生しているときは、画面の指示に従ってエラーを解除してください。 • 十分なインク残量がないとヘッドクリーニングができません。新しいインクカートリッジに交換してください。 ☞47 ページ「インクカートリッジの交換」
約 30 分以上連続して印刷をしている途中、印刷速度が遅くなった	• 印刷速度が極端に遅くなったときは、印刷を中断して電源の入った状態で 30 分以上放置してください。印刷を再開すると、通常の速度で印刷できるようになります。高温による製品内部の損傷を防ぐための機能が働いているのが原因ですが、印刷速度が遅くなっても印刷は継続できます。
製品に触れた際に電気を感じる（漏洩電流）	• アース（接地）を取ることをお勧めします。 • 多数の周辺機器を接続している環境下では、本製品に触れた際に電気を感じることがあります。
日付・時刻がずれている	• 日付・時刻を正しく設定してください。 ☞41 ページ「日付 / 時刻設定」

パソコン接続時

症状・トラブル状態	対処方法
パソコンから印刷できない	• 『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。 ☞「トラブル解決」－「印刷のトラブル」－「印刷できない」 • 『ネットワークガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。 ☞「トラブル解決」－「その他のトラブル」－「ネットワーク印刷時のトラブル」
印刷品質が悪い 印刷面がこすれる・汚れる 印刷位置がずれる・はみ出す	• 『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。 ☞「トラブル解決」－「印刷のトラブル」－「印刷品質 / 結果が悪い」
パソコンからスキャンできない	• 『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。 ☞「トラブル解決」－「スキャンのトラブル」－「スキャンできない」
スキャン品質が悪い 意図した範囲・向きでスキャンできない	• 『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。 ☞「トラブル解決」－「スキャンのトラブル」－「スキャン品質 / 結果が悪い」
パソコンからファクス送信できない	• 『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。 ☞「トラブル解決」－「ファクスのトラブル」－「ファクスの送受信ができない」
ネットワーク設定できない	• 『ネットワークガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。 ☞「トラブル解決」

メッセージが表示されたら

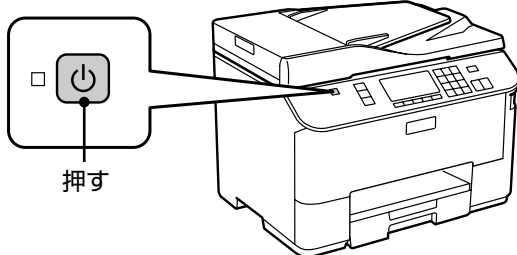
本製品の画面に以下のメッセージが表示されたら、対処方法をご確認ください。

メッセージ	対処方法
プリンターエラーが発生しました。 電源を入れ直してください。 詳しくは、マニュアルをご覧ください。	電源を入れ直してください。 それでもエラーが解除されないときは、電源を切ってから前面カバーを開け、内部に異物（輸送用の保護テープ・用紙など）が入っていないか確認してください。
インク量が限界値以下のためカートリッジ交換が必要です。	本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されてます。新しいインクカートリッジに交換してください。 47 ページ「インクカートリッジの交換」
Recovery Mode	ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。 以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 ① パソコンとプリンターを USB 接続します（リカバリーモード中のアップデート作業は、ネットワーク接続ではできません）。 ② エプソンのホームページから最新版のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。 詳しくはダウンロードページの「アップデート方法」をご覧ください。

増設カセットユニット(オプション)の取り付け

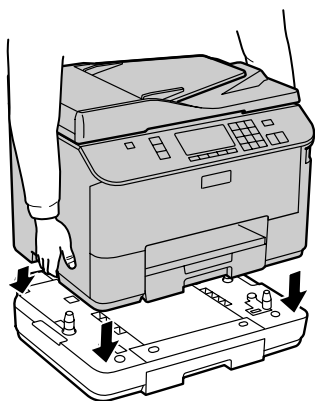
オプションの増設カセットユニットの取り付け方法を説明します。

⚠注意
作業は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。コードが傷付くなどにより、感電・火災のおそれがあります。

1 【電源】ボタンを押して、電源を切ります。

2 本体に取り付けているコードをすべて取り外します。

3 増設カセットユニットを箱から取り出します。

4 増設カセットユニットの保護テープや保護材をすべて取り外します。

5 本体と増設カセットユニットを図のように合わせます。

6 取り外したコードを再接続します。

7 ステータスシートを印刷して、増設カセットユニットが認識されているか確認します。

☞42 ページ「セットアップ」－「本体ステータスシートの印刷」

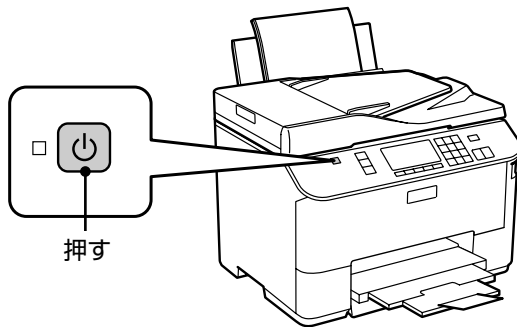
増設カセットユニットが認識されていないときは、コードをすべて取り外し手順 5 からやり直してください。

以上で、作業は終了です。

輸送の準備

本製品を輸送するときは、衝撃などから守るために、以下の作業を確実に行ってください。
本体とオプションの増設カセットユニットは別々に梱包してください。

1 【電源】ボタンを押して、電源を切ります。

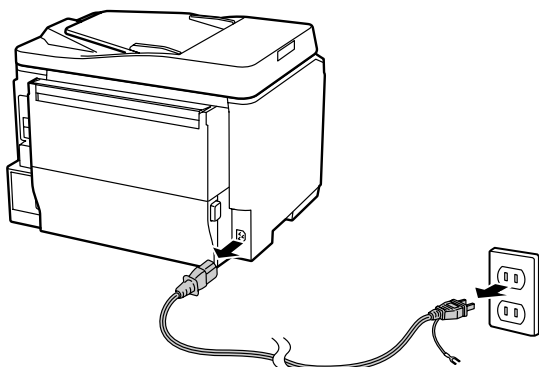
プリントヘッドが右側のホームポジション（待機位置）に移動し、固定されます。

!重要

- インクカートリッジとメンテナンスボックスは取り外さないでください。輸送時にインクが漏れるおそれがあります。また、プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
- プリントヘッドの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、プリントヘッドがホームポジションに移動せず、固定できません。電源を入れ直し、必ず【電源】ボタンを押して電源を切ってください。

2 すべての給紙装置から用紙を取り除きます。

3 原稿カバーを開けて、原稿がないことを確認します。

4 電源コードを本体から取り外します。

USB ケーブル・LAN ケーブル・モジュラーケーブルが接続されているときは、すべて取り外してください。

5 保護材を取り付け、本製品を水平にして梱包箱に入れます。

!重要

保護材の取り付け時や輸送時は、本製品を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態で取り扱ってください。

以上で、作業は終了です。

参考

輸送後に印刷不良が発生したときは、プリントヘッドをクリーニングしてください。
☞49ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

オートドキュメントフィーダー使用時のご注意

対応原稿サイズ

ADFにセットできる原稿は、A4・Letter・Legalサイズの普通紙です。ファクスとコピーはA4サイズのみ対応しています。A4・Letterサイズは両面スキャンができます。

セットできない原稿

次のような原稿はセットしないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

- 折り目やしわのある原稿
- 破れている原稿
- 反っている原稿
- のり・ステープラー・クリップなどが付いた原稿
- 形が不規則な原稿・裁断角度が直角でない原稿
- 写真・シール・ラベルなどを貼った原稿
- ルーズリーフなど多穴の原稿
- とじられている（製本されている）原稿
- 裏カーボンのある原稿
- 薄すぎる原稿・厚すぎる原稿
- 透明・半透明な原稿（OHPシートなど）
- 光沢のある原稿
- 劣化した原稿

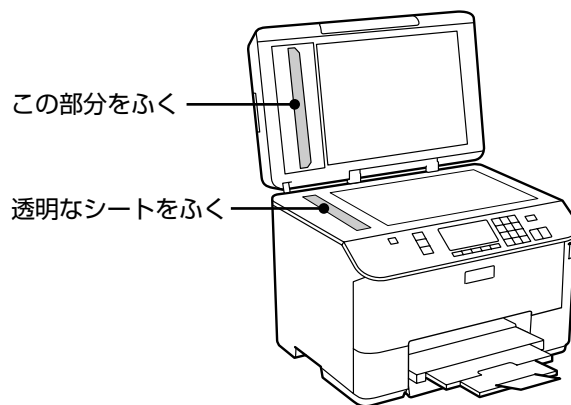
原稿の取り扱い

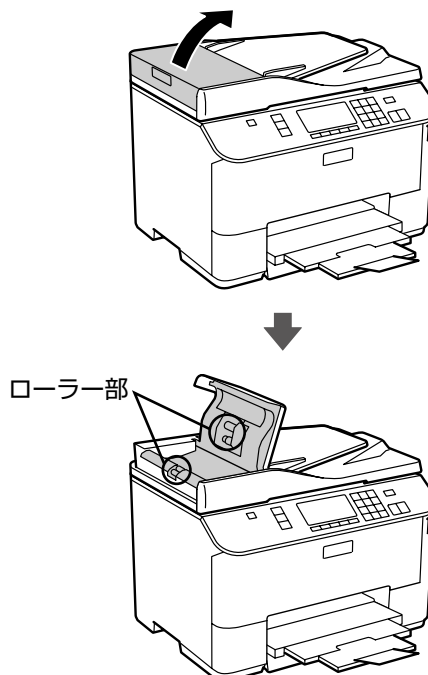
- 複数枚の原稿をセットするときは、整えてからセットしてください。
- 原稿を継ぎ足してセットしないでください。

オートドキュメントフィーダーの清掃

ADFの汚れは、原稿の給紙不良や、コピー結果の汚れの原因になります。
以下の手順で清掃を行ってください。

裏側

柔らかい布でからぶきします。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸して、よく絞ってから汚れをふき取り、その後乾いた布でふいてください。

内部のローラー

片手でADFを押さえながら、もう片方の手でカバーをゆっくりと開けます。
ローラー部や通紙部分に、紙粉・ちり・ほこりなどが付着していることがありますので、柔らかい布でからぶきしてください。

製品の仕様とご注意

製品仕様

■ 総合仕様

ノズル配列	152 ノズル× 4 列
インク色	ブラック
最高解像度	4800＊× 1200dpi
最小ドットサイズ	3pl（ピコリットル）
インターフェイス	Hi-Speed USB × 2（PC 接続用・外部記憶機器接続用）・10BASE-T・100BASE-TX
定格電圧	AC100 ～ 240V
定格周波数	50 ～ 60Hz
定格電流	0.7 ～ 0.35A
消費電力	コピー時：約 17W （ISO/IEC 24712 印刷パターンコピー） スリープモード時：約 2.4W 電源オフ時：約 0.3W
製品外形寸法 （単位：mm）	収納時：幅 460 ×奥行き 420 ×高さ 341 使用時：幅 460 ×奥行き 654 ×高さ 383
製品質量	約 13.8kg （インクカートリッジ・電源コードを含まず）
動作時の環境	温度：10 ～ 35℃ 湿度：20 ～ 80%（非結露） 湿度（%）80 55 20 10 27 35 温度（℃） この範囲でお使いください。
保管時の環境	温度：－ 20 ～ 40℃ 湿度：5 ～ 85%（非結露）
省資源機能	両面印刷機能・割り付け印刷機能・縮小印刷機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。

＊：最小 1/4800 インチのドット間隔で印刷。

■ スキャナー部基本仕様

走査方式	読み取りヘッド移動による原稿固定読み取り
センサー	CIS
出力解像度	主走査：1200dpi 副走査：2400dpi
最大有効画素数	10200 × 14040 Pixel
最大原稿サイズ	A4・US レターサイズ　216 × 297mm
階調	RGB 各色　16bit 入力 1bit・8bit 出力

■ オートドキュメントフィーダー部基本仕様

用紙セット方向	原稿面上向き
最大原稿サイズ	A4・US レター・Legal サイズ（216 × 355.6mm）
セット可能用紙種類	普通紙（坪量 64 ～ 95g/m^2）
最大セット可能枚数	A4・US レターは 30 枚または 3mm、Legal は 10 枚

■ ファクス部基本仕様

型式	送受信兼用デスクトップ （スーパー G3・カラーファクス）
対応回線	一般加入電話回線（PSTN） 以下のシステムや電話回線では正しく動作しないことがあります。 • 構内交換機（PBX＊）を使用した内線電話システム • ADSL や光ファイバーなどの IP 電話回線 • 各種サービス（キャッチホンなど）の提供を受けている電話回線 • デジタル回線（ISDN） • 加入電話回線との間にターミナルアダプター・VoIP アダプター・スプリッター・ADSL ルーターなどの各種アダプターを接続しているとき その他、電話回線の状況や地域などの条件によっては正しく動作しないことがあります。 また、ドアホン・ビジネスホンには対応していません。
通信速度	最大 33.6kbps
解像度	モノクロ ドラフト：8pels/mm × 3.85lines/mm 標準：8pels/mm × 7.7lines/mm きれい：8pels/mm × 7.7lines/mm カラー 標準：200 × 200 dpi きれい：200 × 200 dpi
短縮ダイヤル登録件数	最大 60 件
受信ファクス最大保存ページ数	約 180 ページ （ITU-T 標準原稿をモノクロドラフトで受信した場合）

＊：企業などの内線電話システムで使われている回線で、外線発信するときに電話番号の最初に 0 などの外線発信番号を付けて通話する回線のこと。

■ 外部記憶装置の最大容量

外部記憶装置	サポートする最大容量
MO ドライブ＊	MO 1.3GB
HDD＊・ USB フラッシュメモリー	2TB ※ FAT･FAT32･exFAT フォーマット済みのもの。

＊：バスパワーでの電源供給は不可。必ず AC アダプターを接続して使用すること。

ただし、以下の外部記憶装置は使用できません。

- 専用のドライバーが必要なもの
- セキュリティー（パスワード・暗号化）機能付きのもの
- USB ハブ機能が内蔵されているもの

また、すべての動作を保証するものではありません。詳しくは、エプソンのホームページをご覧ください。
＜ http://www.epson.jp ＞

■電源高調波

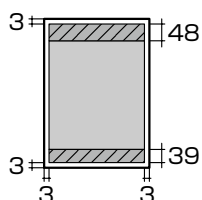
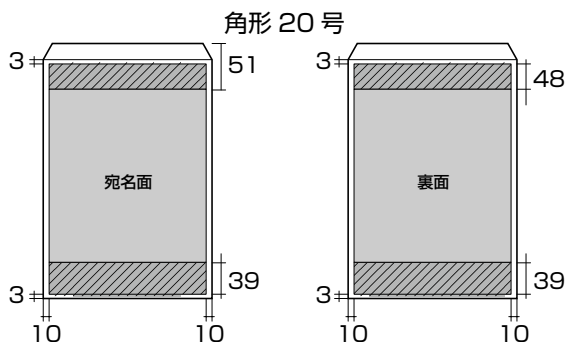
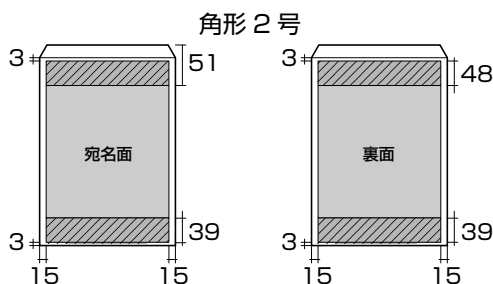
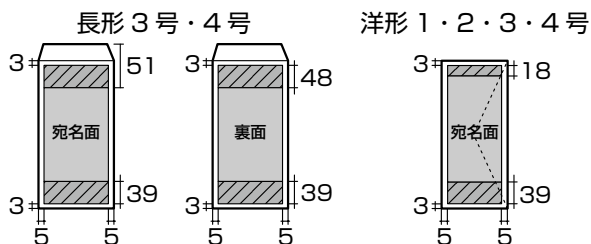
この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

■有線 LAN 仕様

準拠規格	IEEE802.3 i/u
通信モード	10BASE-T・100BASE-TX 自動または固定の選択が可能
コネクター形状	RJ-45
ポート規制	Auto-MDIX 対応

■印刷領域（単位㎜）

本製品の機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。

定形紙

封筒

ご注意

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、外部記憶装置内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災により被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。

外部記憶装置を譲渡・廃棄するときは

外部記憶装置を譲渡・廃棄する際は、市販のデータ消去用ソフトウェアを使って、外部記憶装置内のデータを完全に消去することをお勧めします。パソコン上でファイルを削除したり、フォーマット（初期化）したりするだけでは、市販のデータ復元用ソフトウェアで復元できる可能性があります。また、廃棄時には、外部記憶装置を物理的に破壊することもお勧めします。

■液晶ディスプレイ

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

■瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

■電波障害自主規制

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

■本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

■本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

■本製品の譲渡・廃棄

本製品を譲渡もしくは廃棄する際は、本製品のメモリーに保存されているお客様固有の情報の流出による、不測の事態を回避するために、保存した情報（電話番号、宛先名称など）を消去してください。
消去方法の詳細は、以下のページをご覧ください。
☞43 ページ「購入時の設定に戻す」
一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

■複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律） 刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条 など
以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

■著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

商標・表記

■商標

- Mac、OS X は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- EPSON Scan is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- EPSON ステータスモニターはセイコーエプソン株式会社の商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

■表記

- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system 日本語版

本書中では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows XP」「Windows Vista」「Windows 7」「Windows Server 2003」「Windows Server 2008」「Windows Server 2008 R2」と表記しています。
また、これらの総称として「Windows」を使用しています。
本書では、Mac OS X Lion を「Mac OS X v10.7.x」と表記しています。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートは、以下のページでご案内しています。
☞68 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

■ マニュアルのダウンロードサービス

製品マニュアル（取扱説明書）の最新版 PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。
< http://www.epson.jp/support/ > －［製品マニュアルダウンロード］

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。
エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（３年、４年、５年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディーな対応 － スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心 － 万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単 － エプソンサービスパック登録書をFAXするだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化 － エプソンサービスパック規約内･期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず以下のトラブル対処方法をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。
☞50 ページ「困ったときは」
☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「トラブル解決」
☞『ネットワークガイド』（電子マニュアル）－「トラブル解決」

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。
改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求め頂いた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター（68 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」をご覧ください）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。
使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">概要</th><th colspan="2">修理代金</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>修理代金</th></tr>
<tr><td rowspan="2">年間保守契約</td><td>出張保守</td><td>• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。
• 修理のつど発生する修理代・部品代*が無償になるため予算化ができて便利です。
• 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td>持込保守</td><td>• 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。
• 修理のつど発生する修理代・部品代*が無償になるため予算化ができて便利です。
• 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポット出張修理</td><td>• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。
• 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。</td><td>無償</td><td>出張料＋技術料＋部品代
修理完了後
そのつどお支払いください</td></tr>
<tr><td colspan="2">持込／送付修理</td><td>故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。</td><td>無償</td><td>基本料＋技術料＋部品代
修理完了品をお届けしたときにお支払いください</td></tr>
<tr><td colspan="2">ドア to ドアサービス</td><td>• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。
• 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金のみ）</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金＋修理代）</td></tr>
</table>

＊：消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。

!重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

本製品に関するお問い合わせ先

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認下さい。http://www.epson.jp/support/

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
・松本修理センター:0263-86-7660　・東京修理センター:042-584-8070
・鳥取修理センター:0857-77-2202　・福岡修理センター:092-622-8922

●引取修理サービス（ドアtoドアサービス）に関するお問い合わせ先

＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。
引取修理サービス（ドアtoドアサービス）とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）受付電話　**050-3155-7150**【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊平日の17:30～20:00（弊社指定休日含む）および、土日、祝日の9:00～18:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通航空で代行いたします。
＊引取修理サービス（ドアtoドアサービス）について詳しくは、エプソンのホームページ でご確認下さい。http://www.epson.jp/support/
＊年末年始（12/30～1/3）の受付は土日、祝日と同様になります。

●エプソンインフォメーションセンター

製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8066　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30　（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8582へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション

製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30　（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム

＊詳細はホームページでもご確認いただけます。　http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日　9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

●MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!　**http://myepson.jp/**　▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料0120-545-101）でお買い求め下さい。（2011年5月現在）

エプソン販売 株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン 株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス（インク）2011. 05

操作パネルのメニュー一覧

コピーモード

- 標準コピー設定
  - コピー枚数
  - コピー濃度
- コピーメニュー
  - 用紙とコピーの設定
    - 設定項目
      - 両面
      - 部単位でコピー
      - レイアウト
      - 倍率
      - 用紙サイズ
      - 用紙種類
      - 印刷品質
      - 原稿の向き
      - 原稿とじ位置
      - 印刷とじ位置

スキャンモード

- スキャン機能
  - スキャンして外部機器に保存
  - スキャンしてパソコンへ
  - スキャンしてパソコンへ（PDF）
  - スキャンしてパソコンへ(Eメール)
- 設定項目
  - 保存形式
  - 原稿の両面設定
  - スキャン範囲
  - 原稿タイプ
  - 解像度
  - 濃度
  - 原稿の向き
  - 原稿とじ位置
- スキャンメニュー
  - スキャン設定
  - プリンターのお手入れ

ファクスモード

- ファクスメニュー
  - 送信設定
    - 設定項目
      - 画質
      - 濃度
      - 両面設定
  - 短縮ダイヤル登録
  - グループダイヤル設定
    - 設定項目（短縮ダイヤル登録・グループダイヤル設定）
      - 新規登録
      - 編集
      - 削除
  - 時刻指定送信
  - 順次同報送信
  - ポーリング受信
  - レポート印刷
    - 設定項目
      - 通信管理レポート
      - 通信結果レポート
      - 短縮ダイヤルリスト
      - グループダイヤルリスト
      - 受信文書再印刷
      - プロトコルログ
  - プリンターのお手入れ

セットアップモード	セットアップ機能	設定項目
	インク残量の表示	
	プリンターのお手入れ	プリントヘッドのノズルチェック プリントヘッドのクリーニング プリントヘッドのギャップ調整
	プリンターの基本設定	給紙装置の用紙サイズ設定 こすれ軽減 両面・乾燥時間 音の設定 日付 / 時刻設定 言語選択 /Language 用紙サイズのチェック
	ネットワーク設定	ネットワーク基本設定 ネットワーク接続診断 ネットワーク情報確認
	ファイル共有設定	USB 接続優先 ネットワーク接続優先
	ファクス設定	送信設定 受信設定 回線設定 ファクス機能診断
	本体ステータスシートの印刷	
	設定をパスワードでロック	ロックする パスワードを変更する
	購入時の設定に戻す	ファクス通信設定 ファクス登録データのクリア ネットワーク設定 ネットワークとファクス設定以外 すべての設定

索引

- 製品各部の名称は
☞8 ページ「各部の名称と働き」
- 操作パネルの使い方や画面の見方は
☞10 ページ「操作パネルの使い方」
- 用紙の種類・サイズは
☞12 ページ「使用できる用紙」
- 設定値（メニュー）は
☞70 ページ「操作パネルのメニュー一覧」

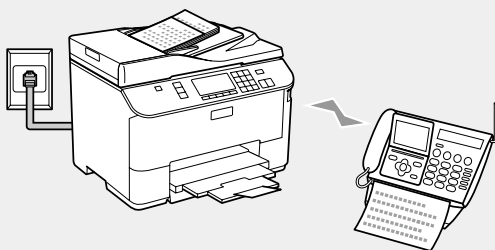
アルファベット

五十音

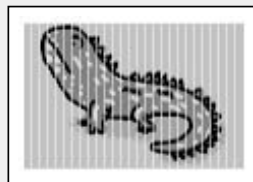
症状別トラブル Q&A

お問い合わせが多い内容です。該当する症状があるときは、対処方法が記載されているページをご覧ください。

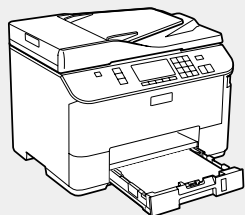
プリンター本体のトラブル

Q ファクスの送信も受信もできない

A ファクス機能診断をしてください。

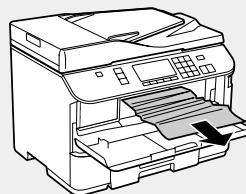
☞38 ページ「ファクス機能診断」

Q 印刷結果がシマシマになる・スジや線が入る

A プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。

☞49 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

Q 給紙できない

A 用紙が正しくセットされていない可能性があります。

☞16 ページ「印刷用紙のセット」

Q 用紙が詰まった・排紙できない

A 詰まった用紙を取り除いてください。

☞50 ページ「詰まった用紙の取り除き」

パソコン接続のトラブル

Q パソコンから印刷できない

A お使いの接続方法に合わせて原因をご確認ください。

■ USB 接続

必要なソフトウェアが正しくインストール・設定されていない可能性があります。

☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「トラブル解決」－「印刷のトラブル」－「印刷できない」

■ネットワーク接続

ネットワーク接続の設定が正しくされていない可能性があります。

☞『ネットワークガイド』（電子マニュアル）－「トラブル解決」

上記を確認してもトラブルを解決できないときは、エプソンのホームページ「よくあるご質問（FAQ）」もご確認ください。
＜ http://www.epson.jp/faq/ ＞

インクカートリッジのご案内

色：ブラック
型番：ICBK91M（M サイズ）/ICBK91L（L サイズ）

【インクカートリッジは純正品をお勧めします】

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

インクカートリッジの回収

学校に持っていこう！

郵便局に持っていこう！

エプソンは使用済み純正インクカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。
便利でお得な「引取回収サービス」で回収リサイクル活動にご協力ください。
他にも、店頭回収ポストや郵便局での回収、学校でのベルマーク活動による回収などのサービスがあります。
回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。
＜ http://www.epson.jp/recycle/ ＞

メンテナンスボックスの回収

使用済みメンテナンスボックスは、「引取回収サービス」をご利用ください。
回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。
＜ http://www.epson.jp/recycle/ ＞

412375600

2012 年 7 月発行
Printed in XXXXXX